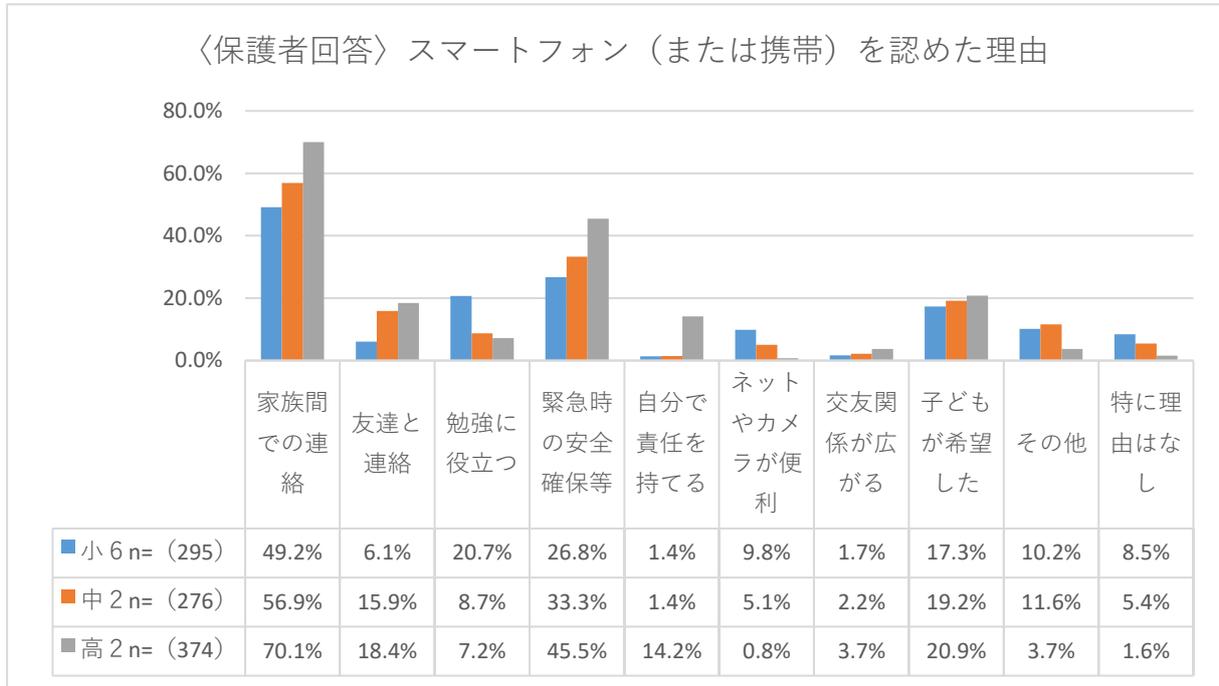


## 9 保護者の意識と利用状況

(1) スマートフォンまたは携帯電話の利用を認めた理由

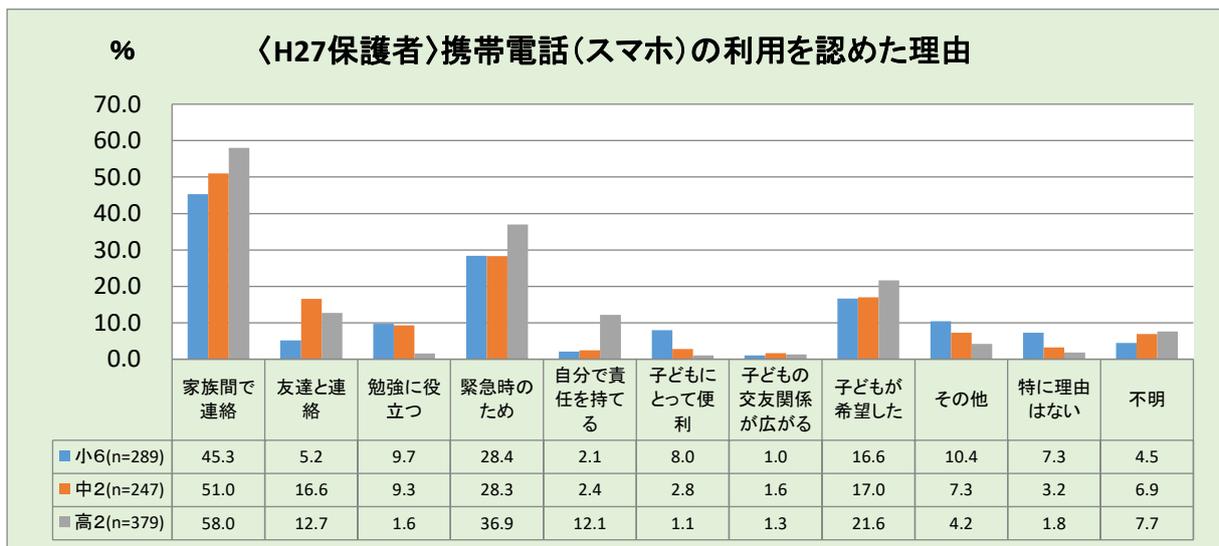
〈保護者〉Q8. あなたがお子様に、スマートフォン（または携帯電話）の利用を認めた理由は何ですか。（最もあてはまるものを選択（2つ以内））

（対象：子どもがスマートフォンまたは携帯電話を利用していると回答した保護者）



【参考】H27年度調査

〈保護者〉Q9. あなたがお子様に、携帯電話（またはスマホ）の利用を認めた理由は何ですか。（最もあてはまるものを選択（2つ以内））



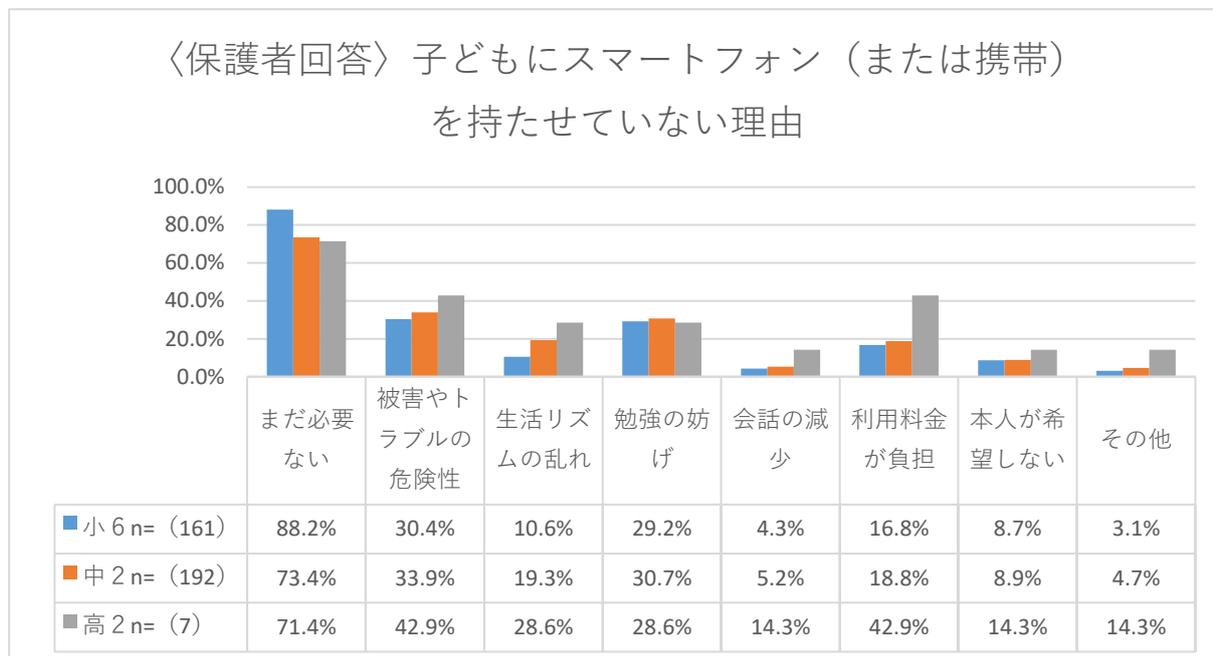
〈スマートフォンまたは携帯電話の利用を認めた理由〉

- ・全ての学校種において、「家族間での連絡をとるため」が一番多く、次いで「緊急時の安全確保等」となった。
- ・小6については、「勉強に役立つ」との理由が前回調査から倍増している。

(2) 子どもにスマートフォンまたは携帯電話を持たせていない理由と持たせる予定  
 〈保護者〉Q13. あなたがお子様にスマートフォン（または携帯電話）を利用させていない理由は何ですか。（あてはまるものを選択（3つ以内））

（対象：子どもがスマートフォンまたは携帯電話を利用していないと回答した保護者）

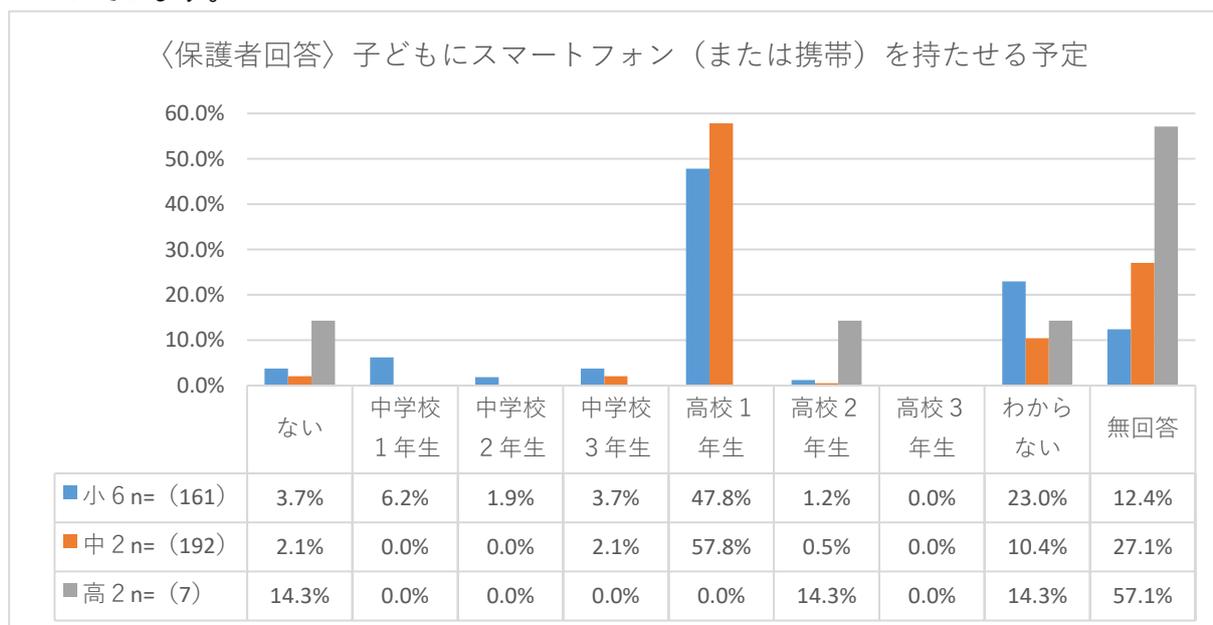
※高2保護者は標本数が少ないため、参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。



〈保護者〉Q14. 将来、お子様にスマートフォン（または携帯電話）を持たせる予定はありますか。あるとしたら、いつ頃をお考えですか。

（対象：子どもがスマートフォンまたは携帯電話を利用していないと回答した保護者）

※高2保護者は標本数が少ないため、参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。

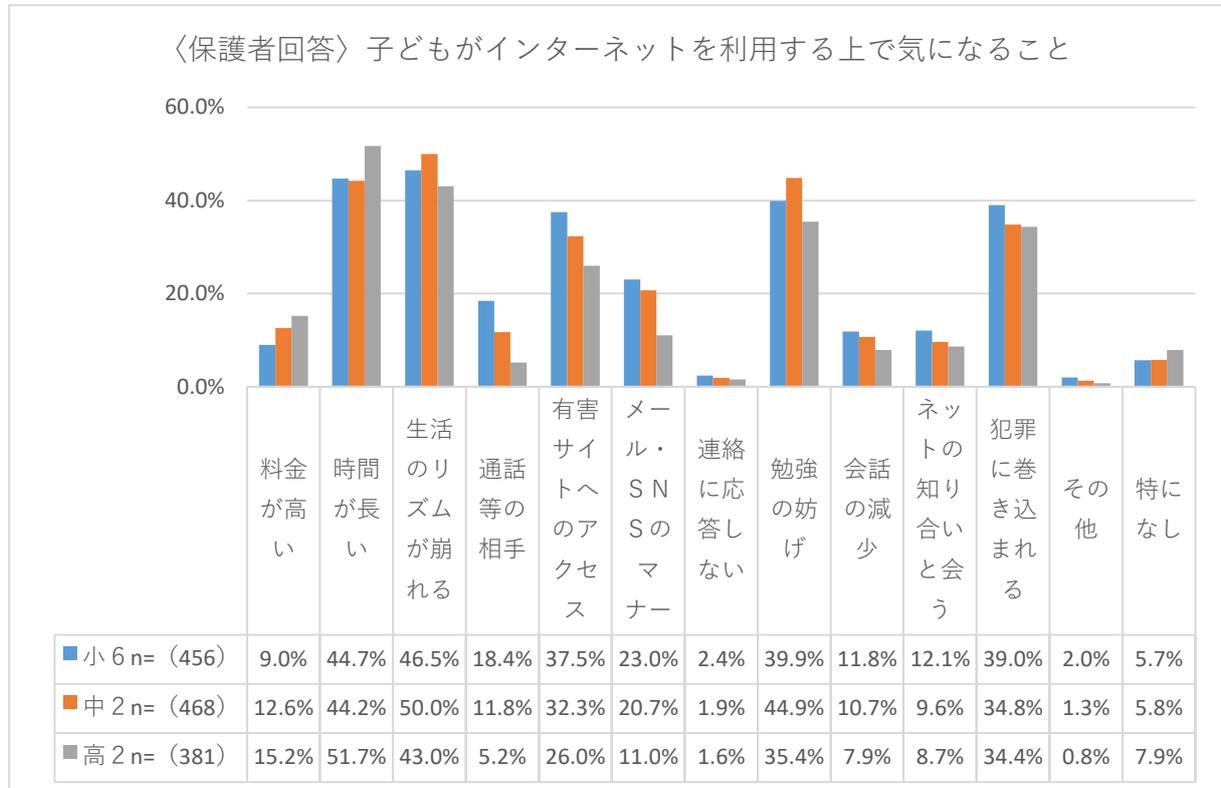


〈子どもにスマートフォンまたは携帯電話を持たせていない理由と持たせる予定〉

- ・現在スマートフォンまたは携帯電話を子どもを持たせていない保護者のほとんどが、現段階では「まだ持たせる必要がない」と考えている。また、持たせていない保護者の約半数は高校1年生から持たせることを考えている。

(3) 子どものインターネット利用で気にかかること

〈保護者〉Q15. あなたのお子様がインターネット（スマートフォンまたは携帯電話・パソコン・ゲーム機などによる）を利用する（またはこれから利用することとなる）上で、気にかかることは何ですか。（あてはまるものを選択（3つ以内））（対象：全回答者）



〈子どものインターネット利用で気にかかること〉

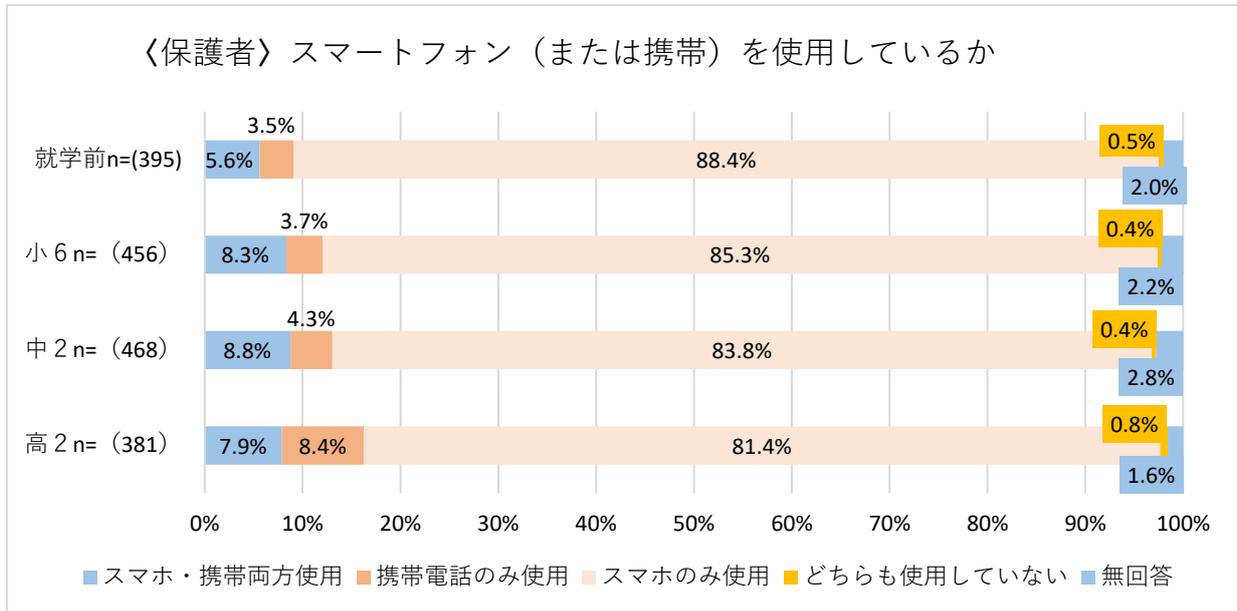
・どの学校種でも、「利用時間の長さ」と「生活リズムが崩れる」、「勉強の妨げとなる」が4割前後であった。また「有害サイトへのアクセス」、「犯罪に巻き込まれる」についても4割には満たないものの、気がかりの要因であることがうかがえる。

(4) 保護者のスマートフォン・携帯電話の利用状況

○利用状況

〈保護者〉Q22. あなたは、スマートフォンや携帯電話を使っていますか。

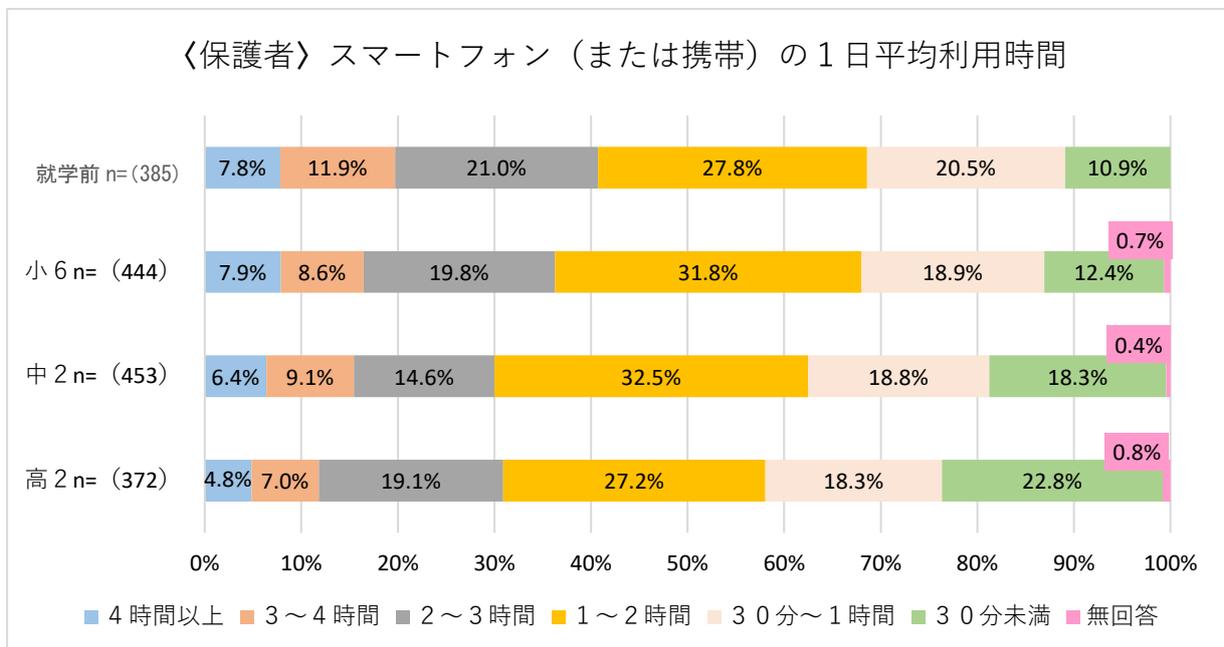
(未就学児保護者含む：Q19) (対象：全回答者)



○利用時間

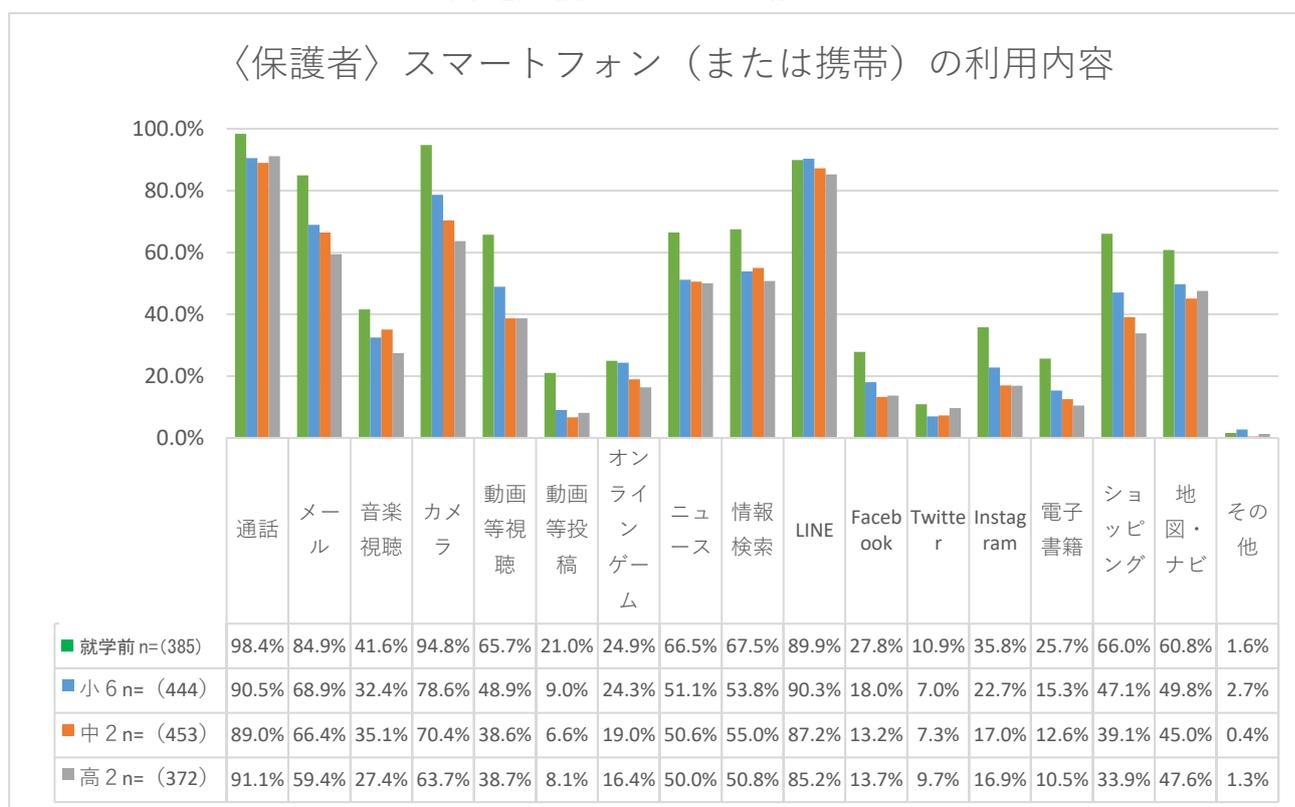
Q24. あなたはスマートフォン（または携帯電話）を1日平均、どのくらい使っていますか。

(未就学児保護者含む：Q21) (スマートフォンまたは携帯電話を使用している保護者)



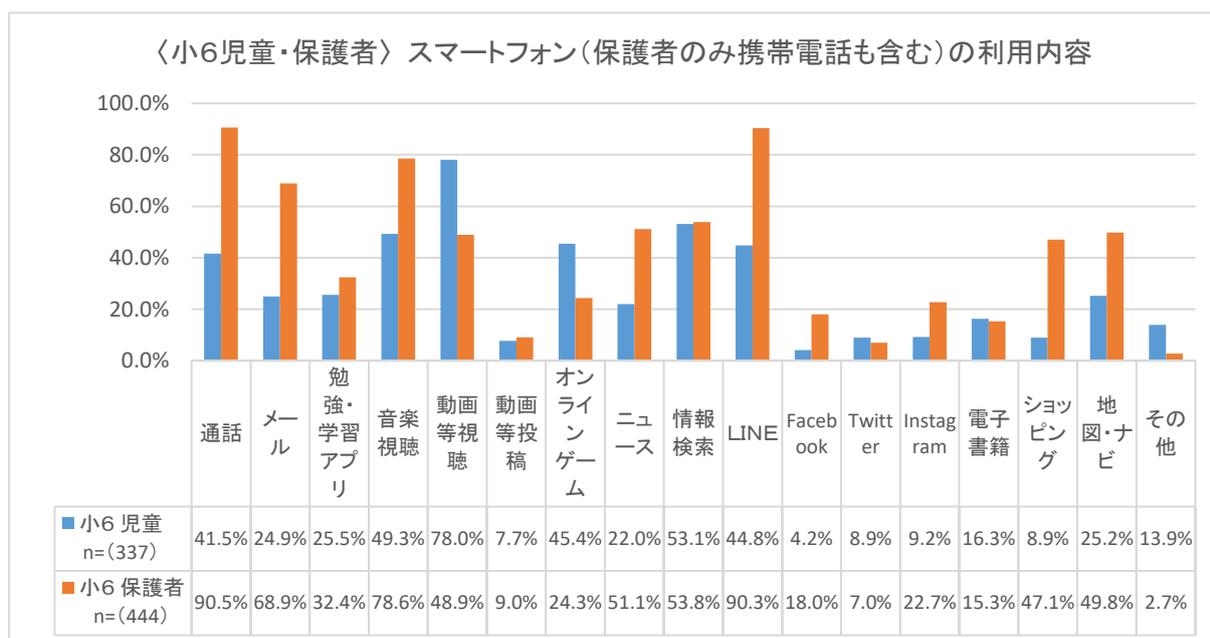
## ○利用内容

〈保護者〉あなたは、スマートフォン（または携帯電話）を主に何に使っていますか。  
 （あてはまるものすべてを選択）（未就学児保護者含む：Q20）  
 （スマートフォンまたは携帯電話を使用している保護者）

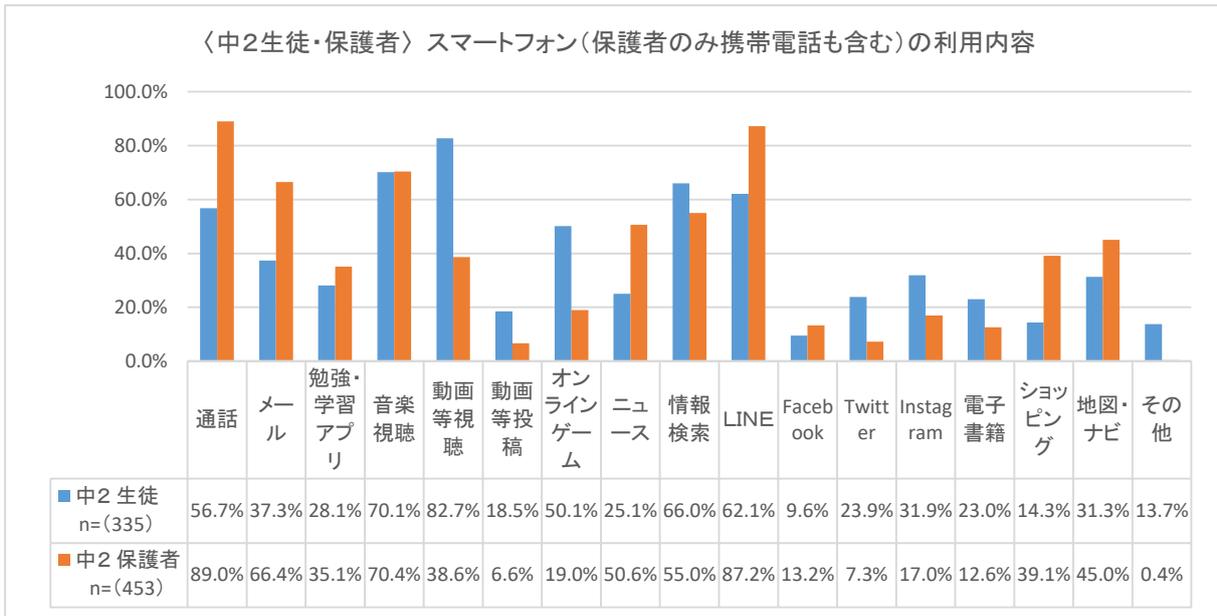


## 【参考】小学6年生とその保護者のスマートフォン利用内容の比較

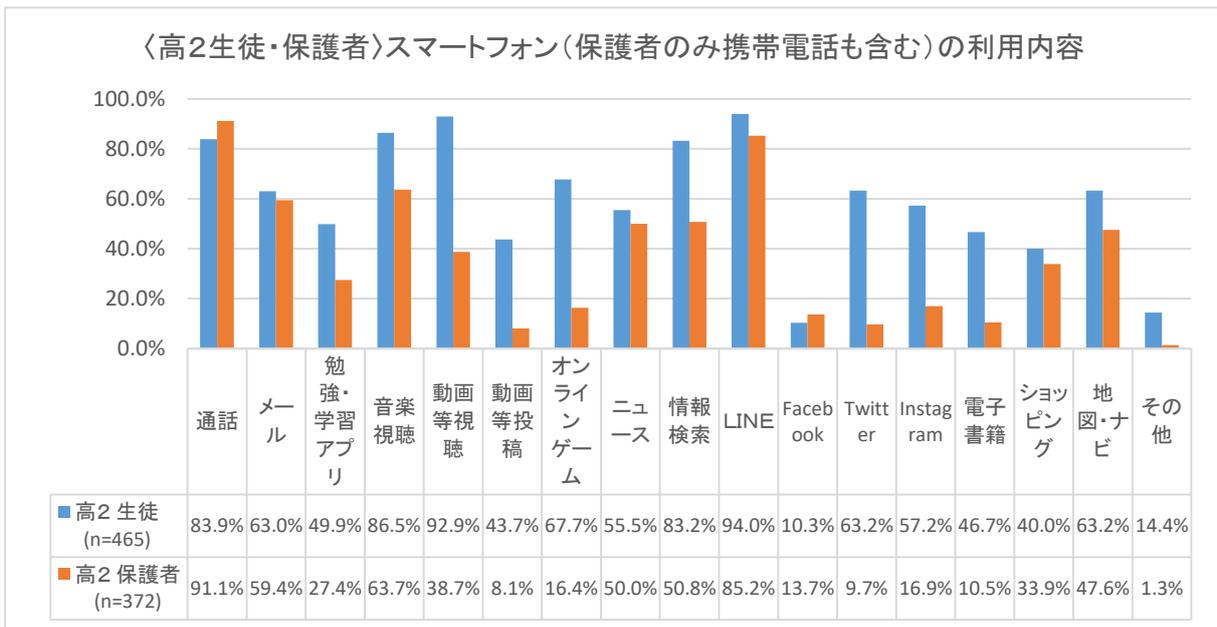
（スマートフォンを利用している児童・保護者（保護者のみ携帯電話も含む））



【参考】 中学2年生とその保護者のスマートフォン利用内容の比較  
 (スマートフォンまたは携帯電話を利用している生徒・保護者)



【参考】 高校2年生とその保護者のスマートフォン利用内容の比較  
 (スマートフォンまたは携帯電話を利用している生徒・保護者)



〈保護者のスマートフォン・携帯電話の利用状況〉

- ・ほとんどの保護者が、スマートフォン（または携帯電話）を利用しており、その3割以上が2時間以上利用していることが分かった。
- ・いずれの学校種においても、動画等視聴、オンラインゲームは、児童・生徒の方が保護者よりも高い割合で利用しており、中2、高2では、このほかに動画等投稿、Twitter、Instagramにおいても、生徒と保護者の利用状況に大きな差が見られた。
- ・児童・生徒がこれらのゲーム・SNS等の利用による犯罪被害に遭わないためにも、保護者が子どもの利用状況を知り、正しい使い方について話し合えるようにより一層の啓発が必要である。

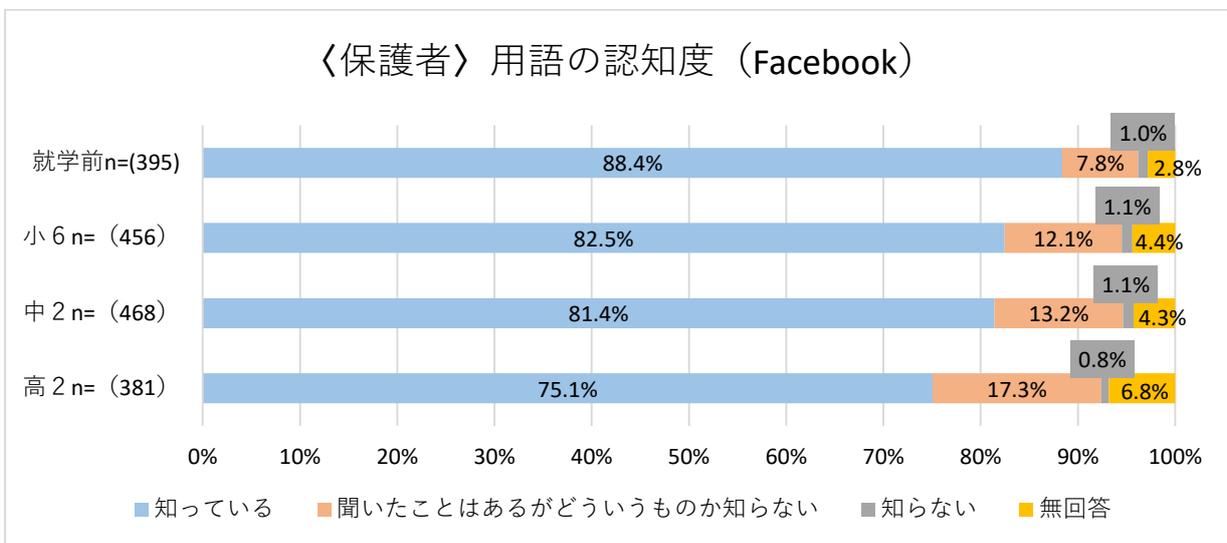
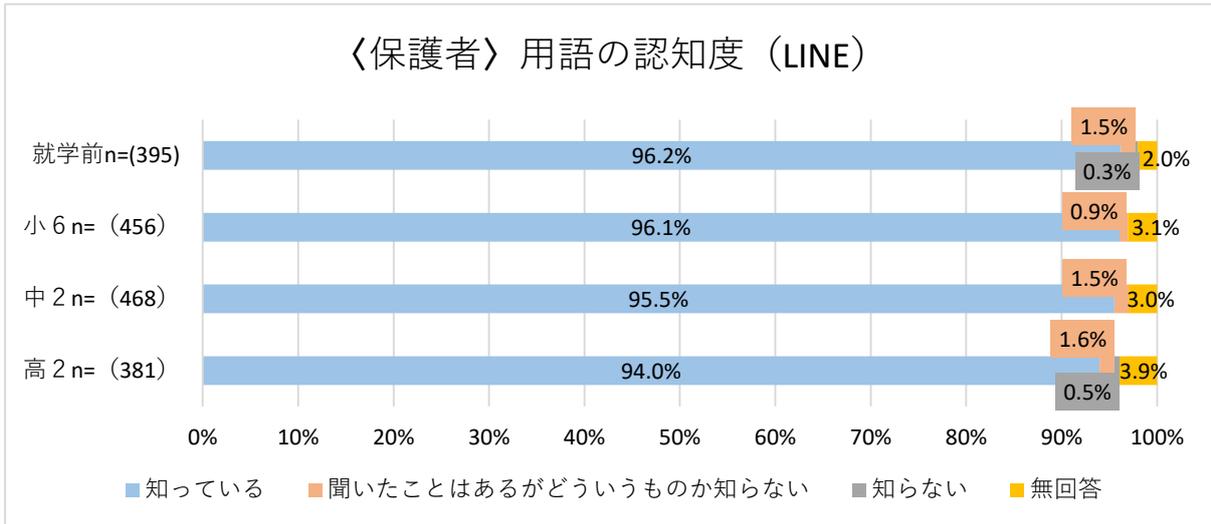
(5) インターネット等の用語の認識

〈保護者〉 Q25. あなたは、インターネットやスマートフォン（または携帯電話）、パソコン、ゲーム等に関する以下の名称の内容を知っていますか。

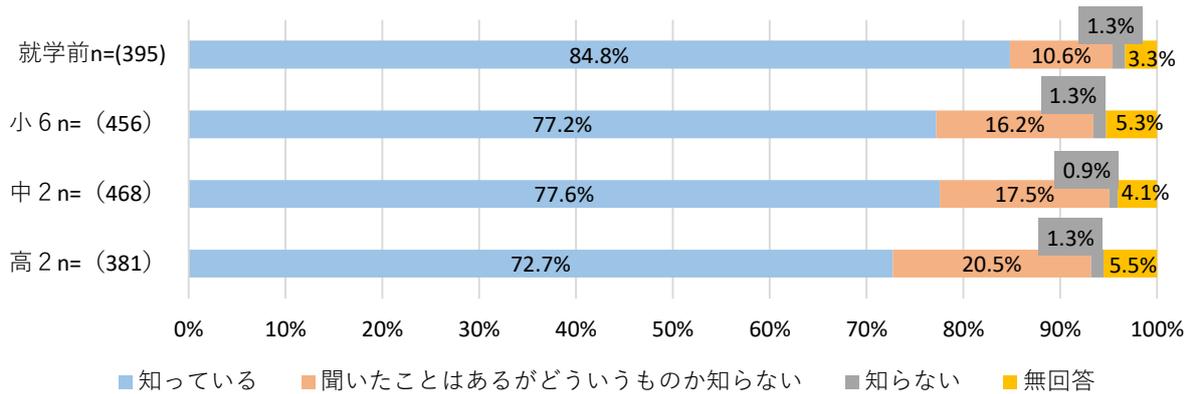
(未就学児保護者含む：Q22) (対象：全回答者)

※調査項目

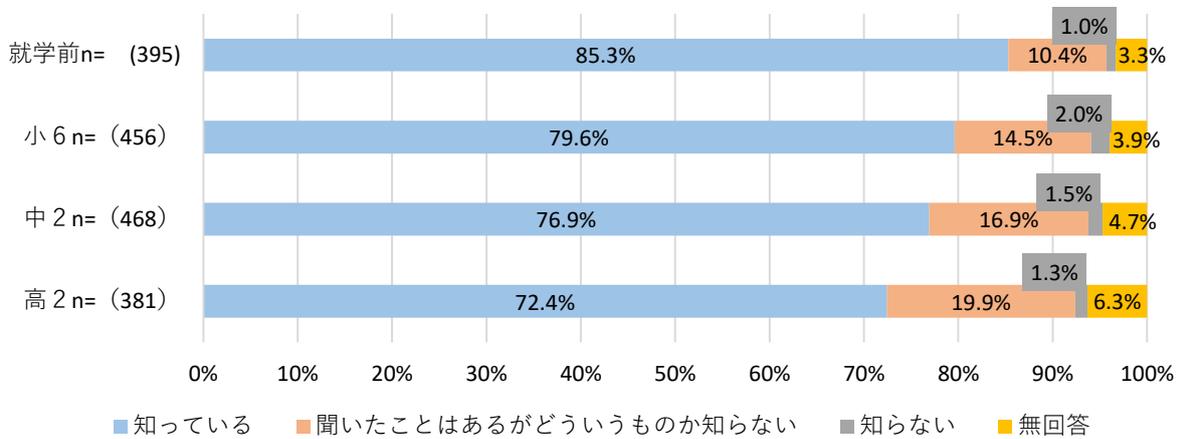
L I N E、Facebook、Twitter、Instagram、SNS、You Tube kids、レーティングマーク、ペアレンタルコントロール、クリック詐欺、Wi-Fi、フリースポット



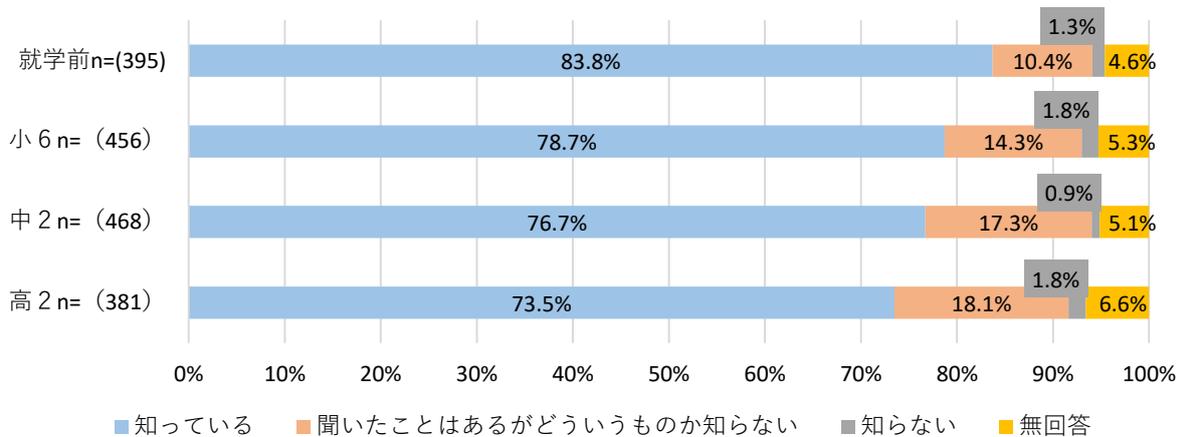
### 〈保護者〉用語の認知度（Twitter）



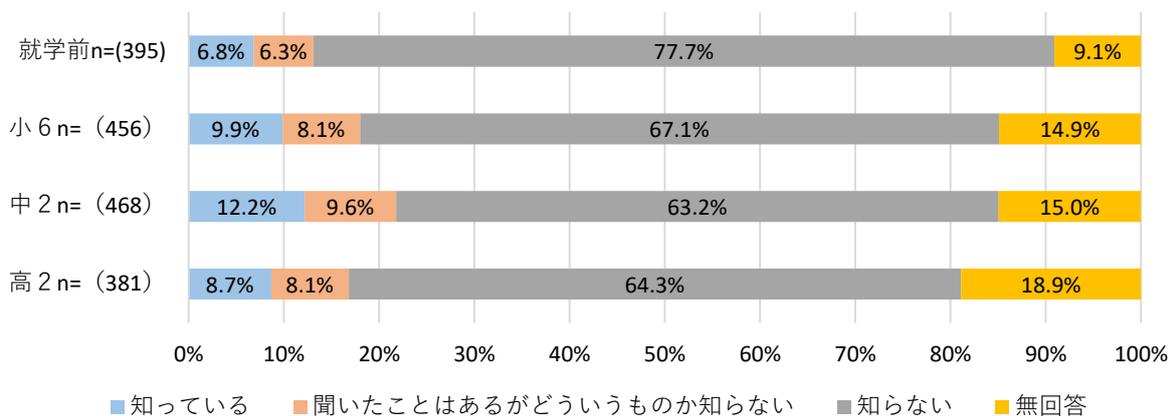
### 〈保護者〉用語の認知度（Instagram）



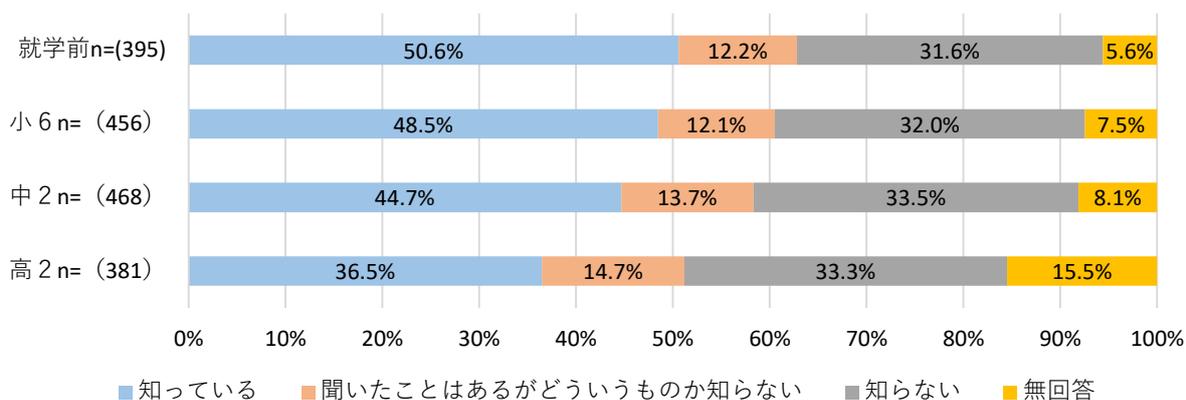
### 〈保護者〉用語の認知度（SNS）



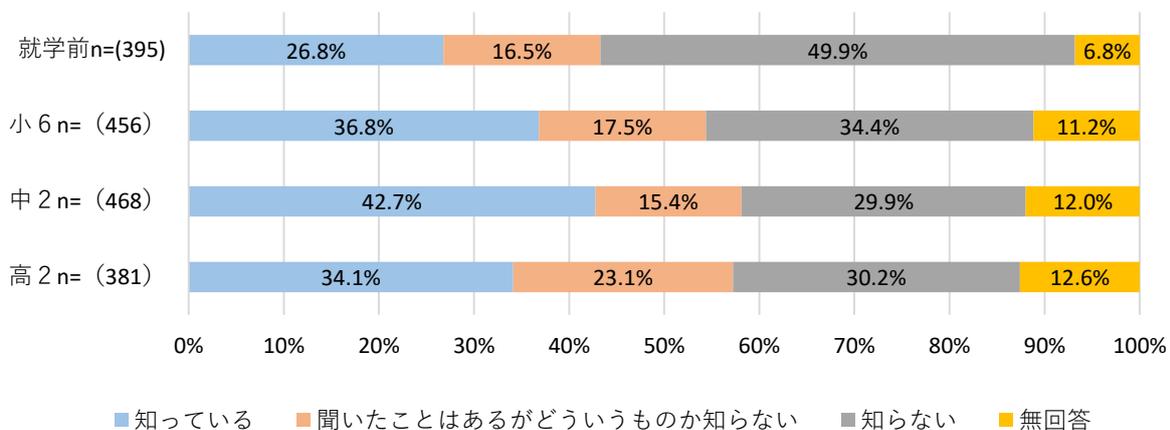
### 〈保護者〉用語の認知度（レーティングマーク）



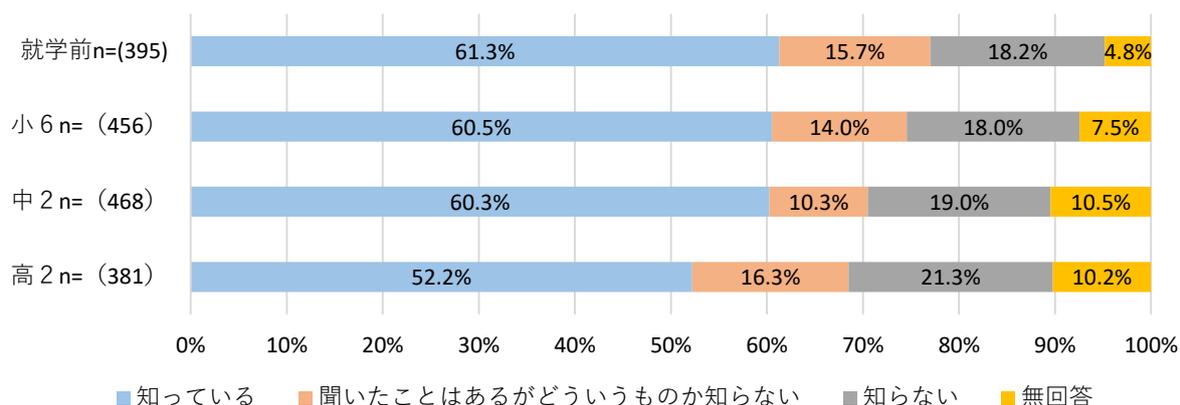
### 〈保護者〉用語の認知度（YouTube kids）



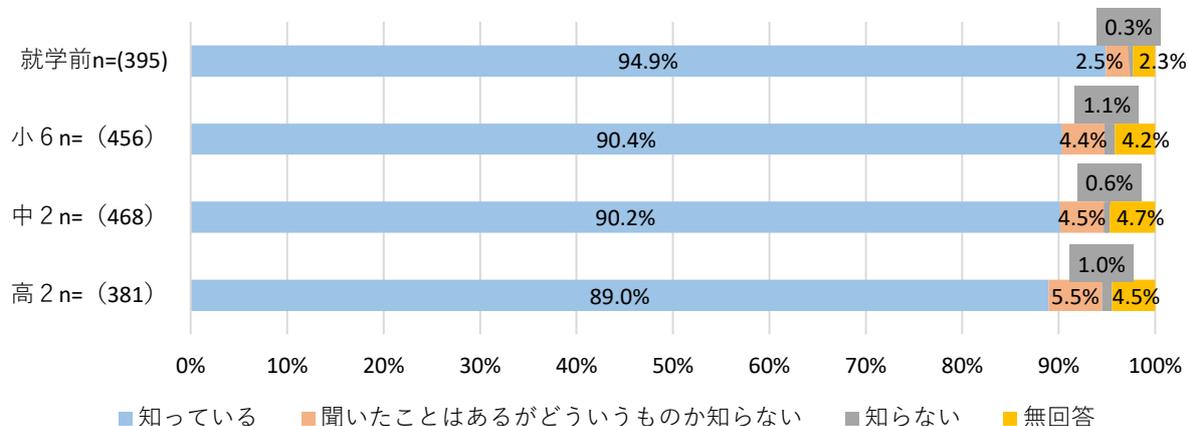
### 〈保護者〉用語の認知度（ペアレンタルコントロール）



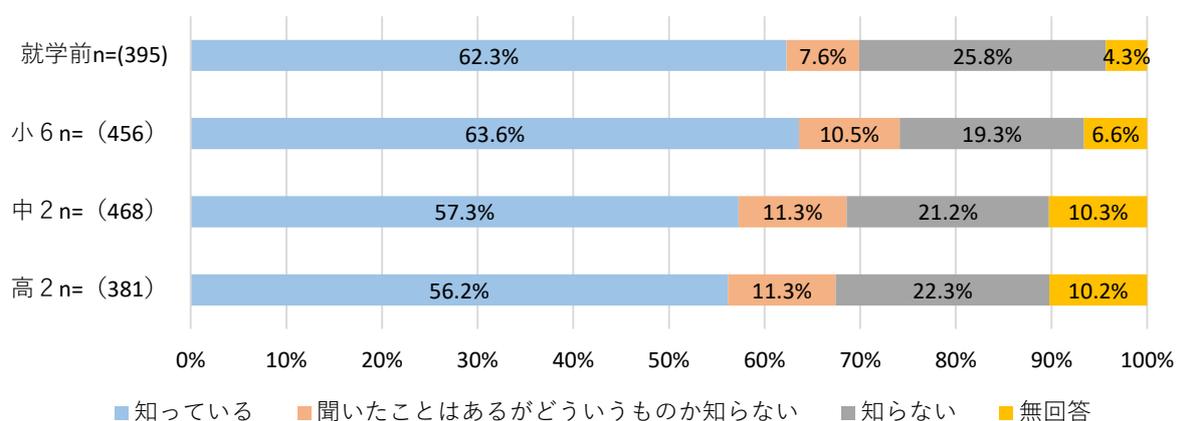
### 〈保護者〉用語の認知度（クリック詐欺）



### 〈保護者〉用語の認知度（Wi-Fi）



### 〈保護者〉用語の認知度（フリースポット）

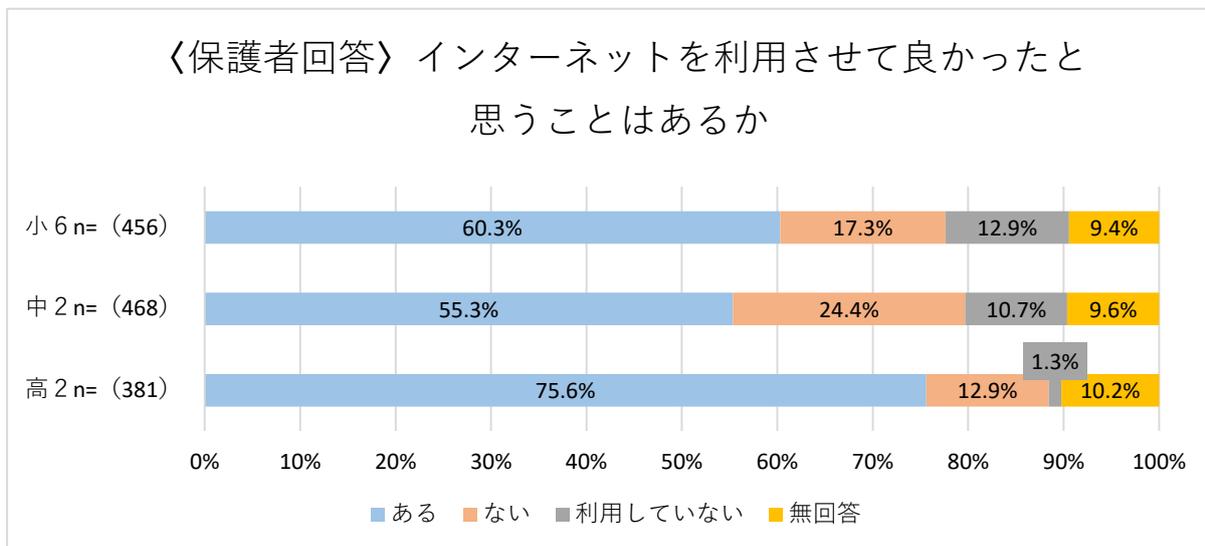


#### 〈保護者のインターネット等の用語の認知〉

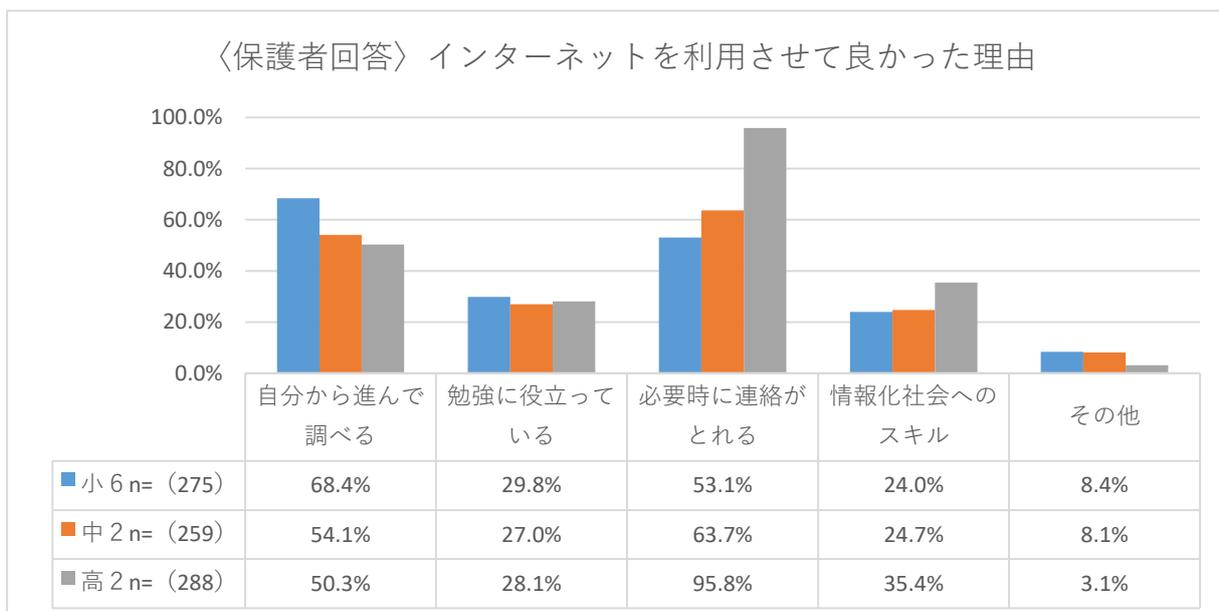
- ・全ての学校種で「レーティングマーク」についての認知度が低く、中2保護者の12.2%を除き、10%未満である。
- ・多くの用語について学校種が高校、中学校、小学校と下がるほど保護者の用語認知度が高いが、「レーティングマーク」や「ペアレンタルコントロール」については、就学前が特に低くなっており、早い時期からの啓発が必要である。

(6) インターネット利用のメリット

〈保護者〉 Q26. あなたが、お子様にスマートフォン（または携帯電話）・パソコン・ゲーム機等によりインターネットを利用させて良かったと思うことはありますか。  
 (対象：全回答者)



その理由は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)



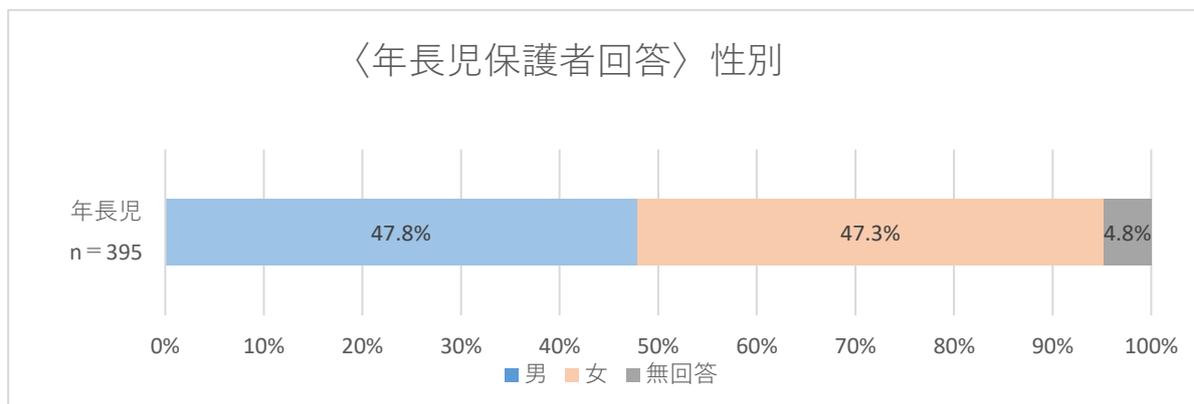
(インターネット利用のメリット)

- ・小6で6割以上、中2で半数以上、高2で7割以上がインターネットを利用させて良かったと感じている。
- ・小6では、「わからないことを進んで調べるようになった」ことをインターネット利用のメリットと感じている。
- ・学校種が上がるにつれて、必要な時に連絡が取れることをメリットと感じている。

## 10 未就学児（年長児）の利用

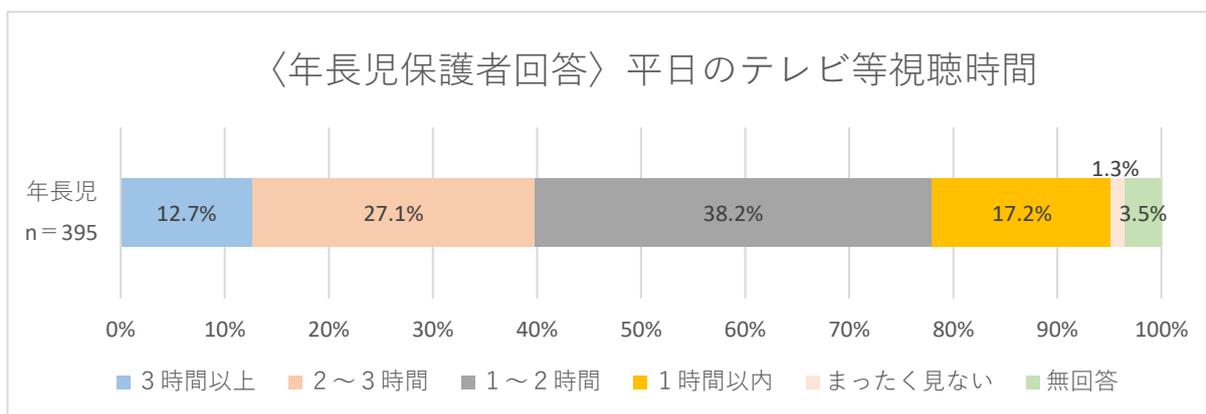
### (1) 回答者（保護者）の子どもの属性

〈保護者〉Q1. あなたのお子様の性別を教えてください。（対象：全回答者）

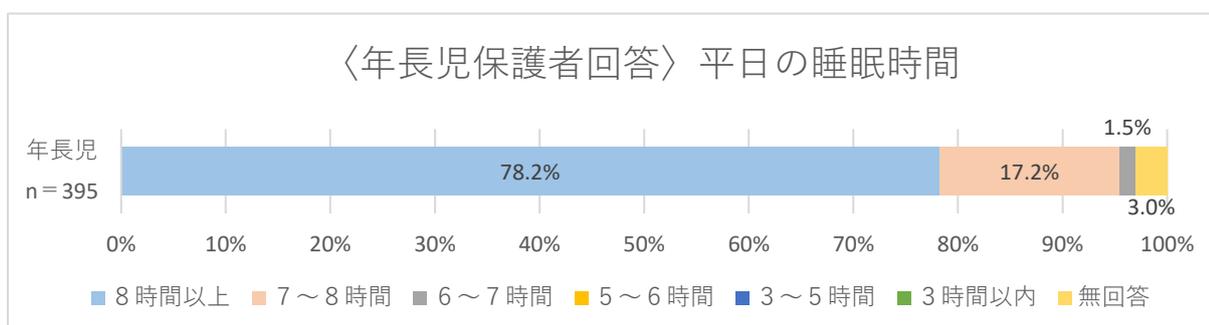


### (2) 生活習慣（テレビ等視聴時間、睡眠時間）

〈保護者〉Q2. あなたのお子様は平日（月曜日から金曜日）に、テレビを1日平均何時間くらい見ますか。（DVD やビデオ視聴も含む）（対象：全回答者）



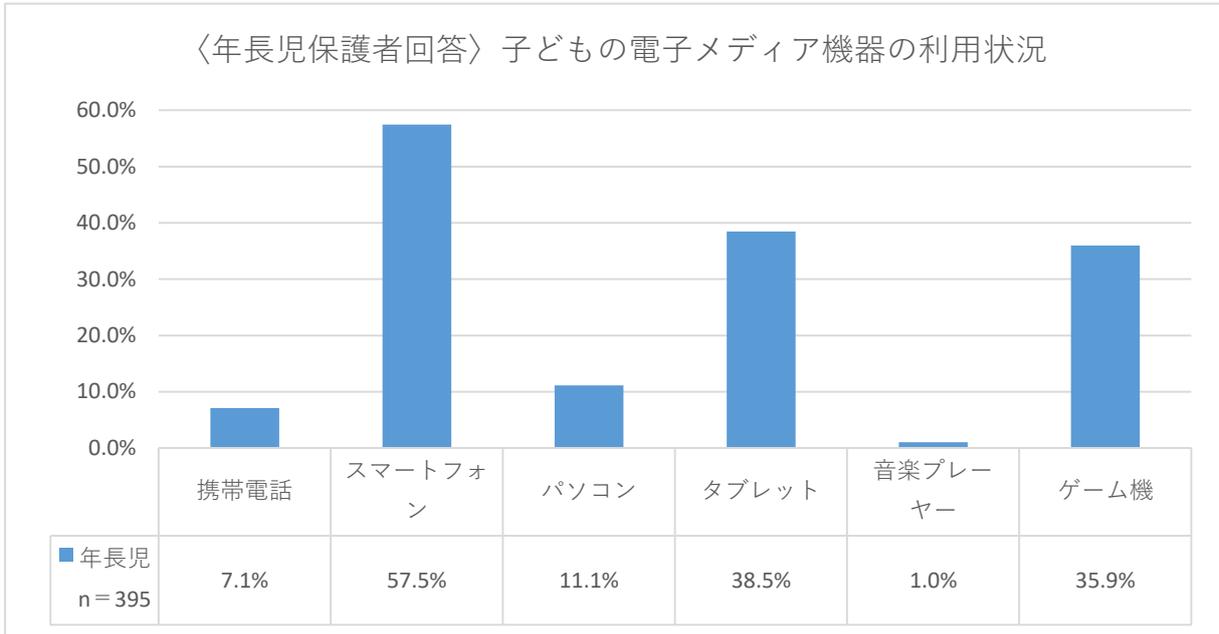
〈保護者〉Q3. あなたのお子様の平日（月曜日から金曜日）の、睡眠時間は1日平均何時間くらいですか。（対象：全回答者）



(3) 電子メディア機器の利用状況

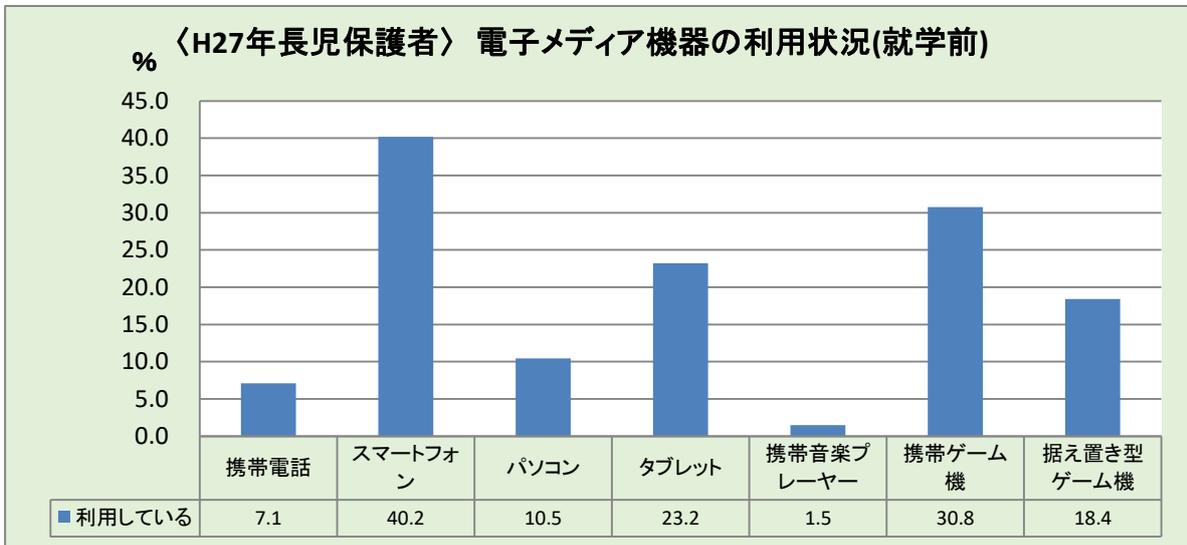
〈保護者〉 Q8. あなたのお子様は、以下の「電子メディア機器」を利用していますか。

(対象：全回答者)



【参考】平成27年度調査

〈年長児保護者〉Q6. あなたのお子様は、以下の「電子メディア機器」を利用していますか。



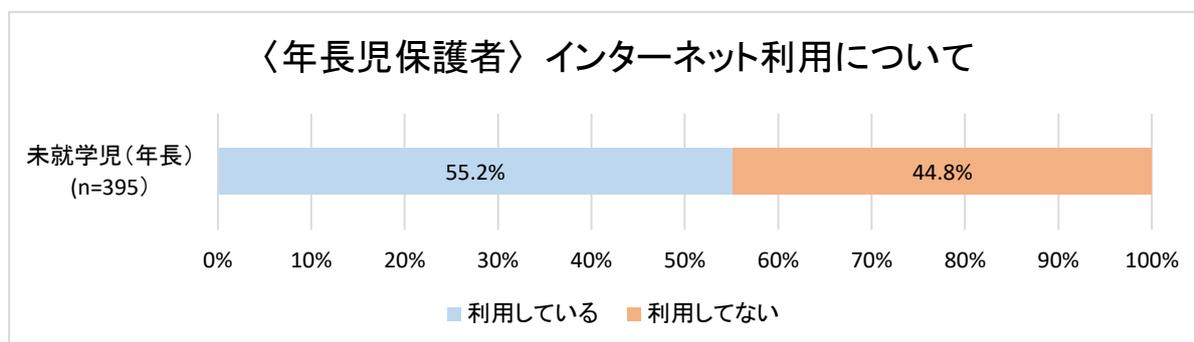
(電子メディア機器の利用状況)

・機器の利用はスマートフォンで17.3ポイント、タブレットで15.3ポイント増加しており、未就学児(年長)の6割弱がスマートフォンを、4割弱がタブレットやゲーム機を利用している。

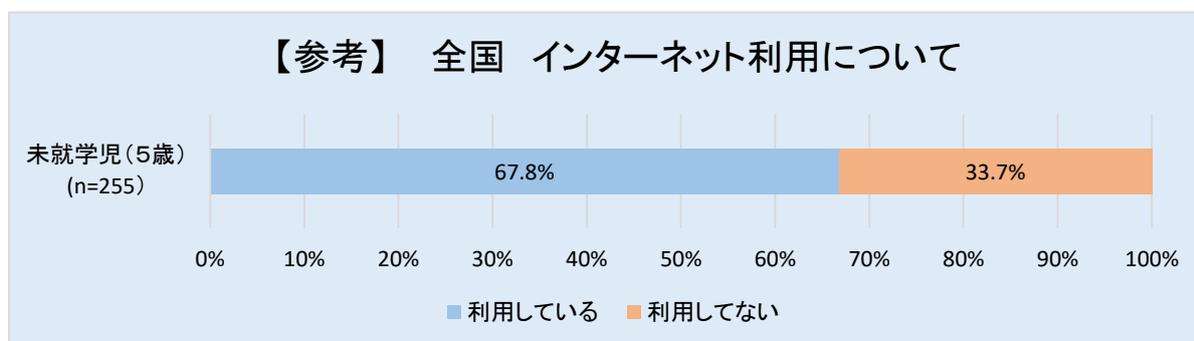
(4) 電子メディア機器でのインターネット利用状況

〈保護者〉Q9. あなたのお子様は、それらの機器でインターネットを利用していますか。

○何らかの機器で「インターネットを利用している」と答えた割合（対象：全回答者）



【参考】

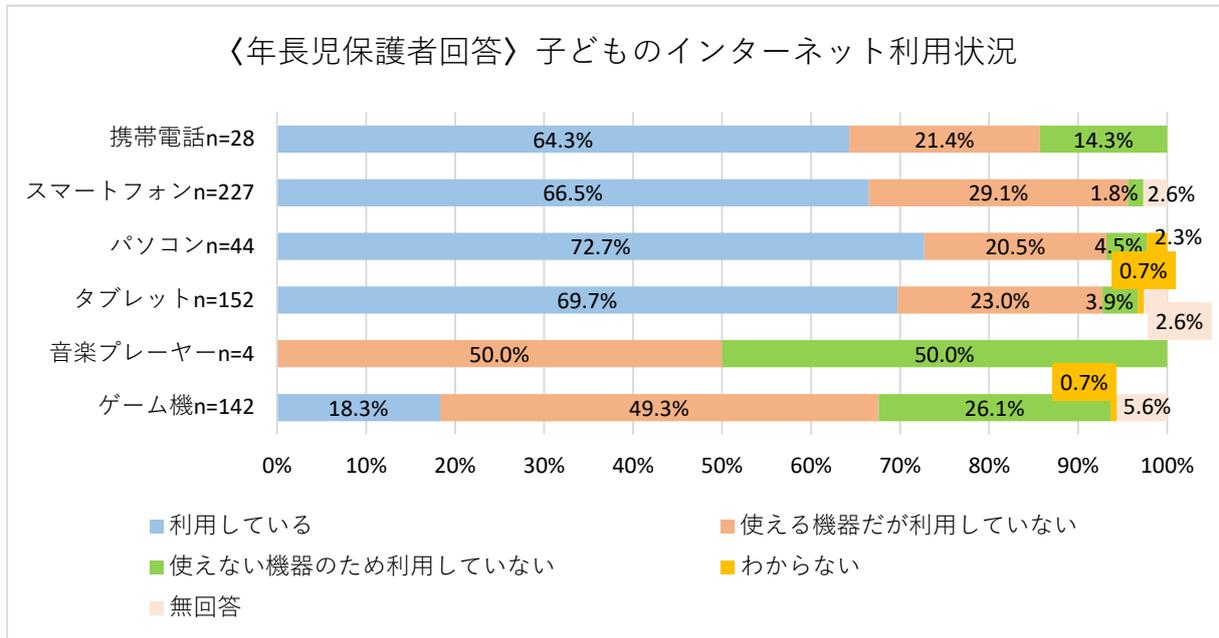


出典 「平成30年度青少年のインターネット利用環境実態調査」(内閣府)

○機器別

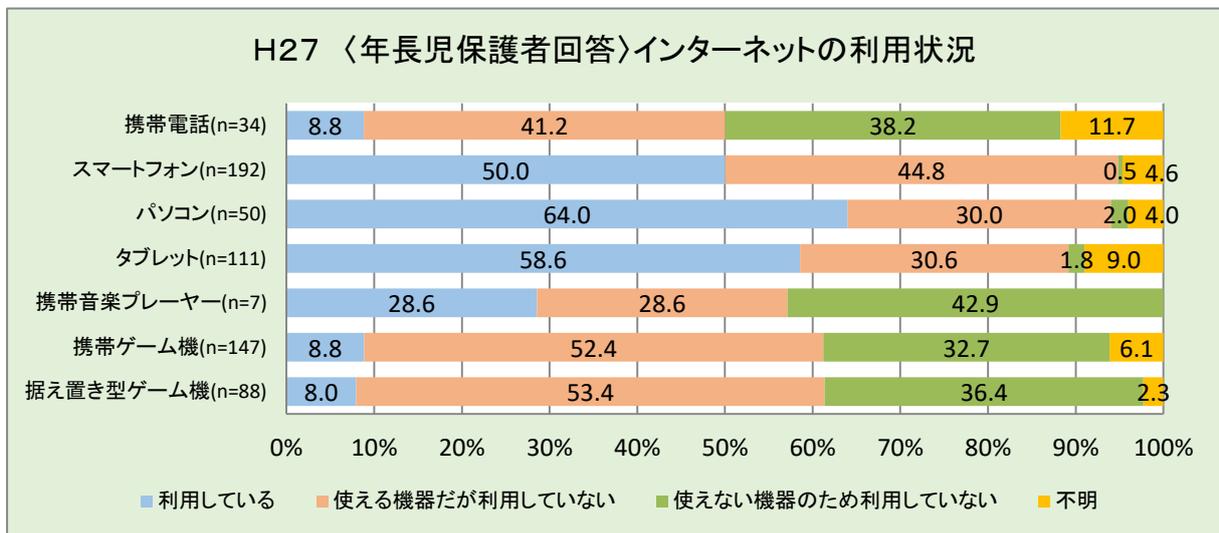
(対象：子どもがいずれかの機器を利用していると回答した保護者)

※「携帯電話」「パソコン」「携帯音楽プレーヤー」は標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。



【参考】平成27年度調査

〈年長児保護者〉あなたのお子様はそれらの機器でインターネットを利用していますか。



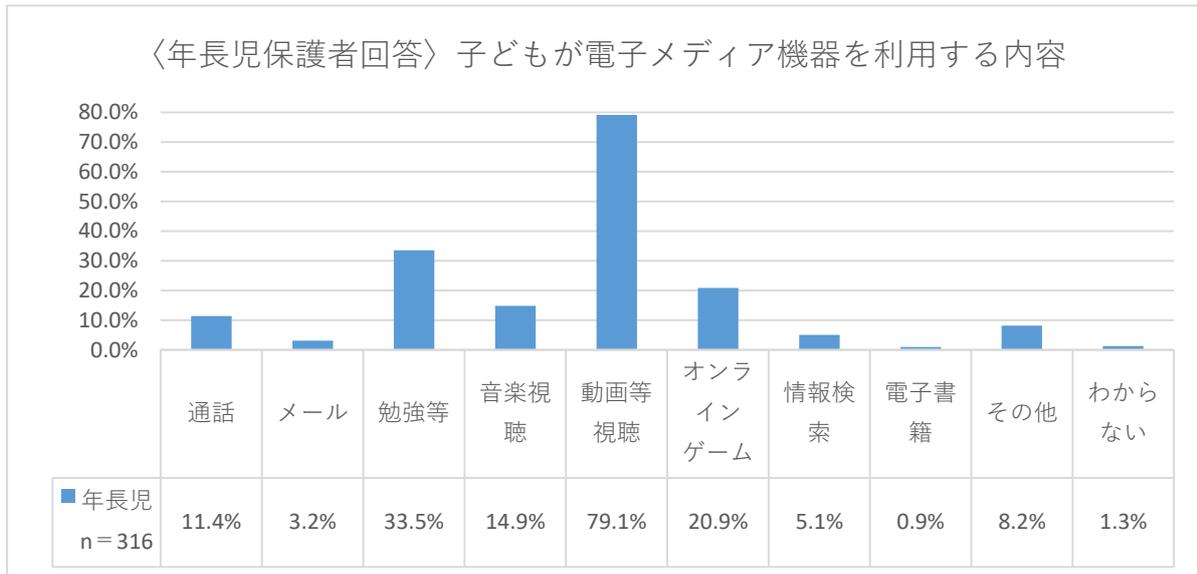
〈【年長児】インターネット利用〉

- ・スマートフォン利用者によるインターネットの利用は前回調査より16.5ポイント増加している。
- ・Q8(p58)による利用機器で一番多かったスマートフォン(57.5%)のインターネット利用率は66.5%であり、年長児全体(395人)の38.2%がスマートフォンでインターネットを利用している。前回調査では全体(478人)の20.0%であり、スマートフォンによるインターネット利用は18.0ポイント増えている。

(5) 電子メディア機器の利用内容

〈保護者〉Q10. あなたのお子様は、それらの機器を何に利用していますか。

(対象：子どもがいずれかの機器を利用していると回答した保護者)



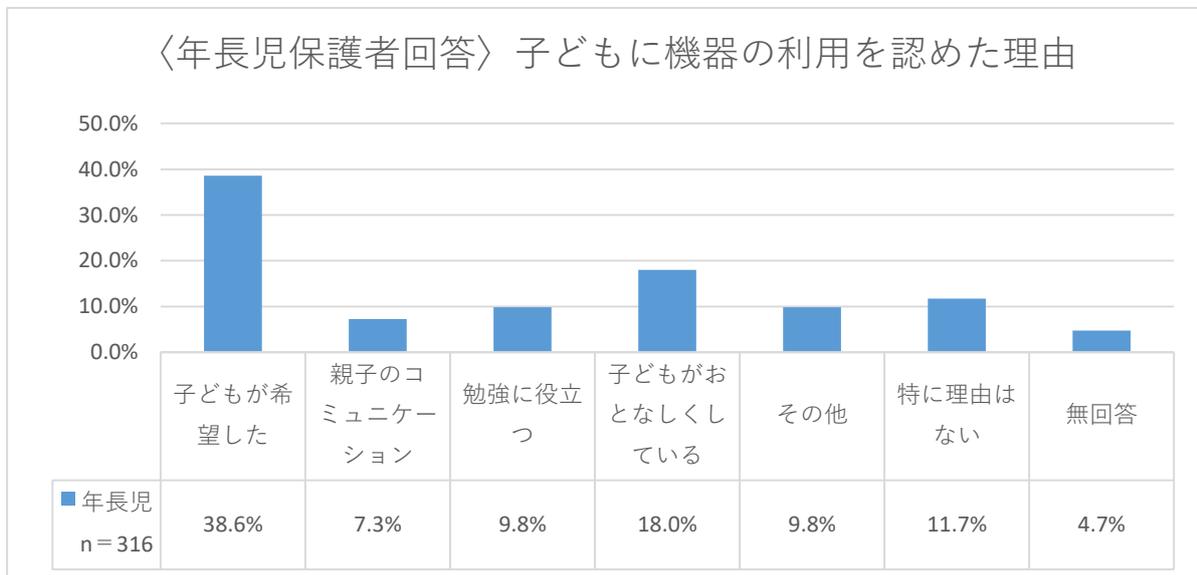
〈【年長児】電子メディア機器の利用内容〉

- ・ 動画等視聴が約8割と最も多くなっており、前回調査より29.3ポイント増えている。

(6) 電子メディア機器の利用を認めた理由

〈保護者〉Q11. あなたがお子様に、それらの機器の利用を認めた理由は何ですか。

(対象：子どもがいずれかの機器を利用していると回答した保護者)



〈【年長児】電子メディア機器の利用を認めた理由〉

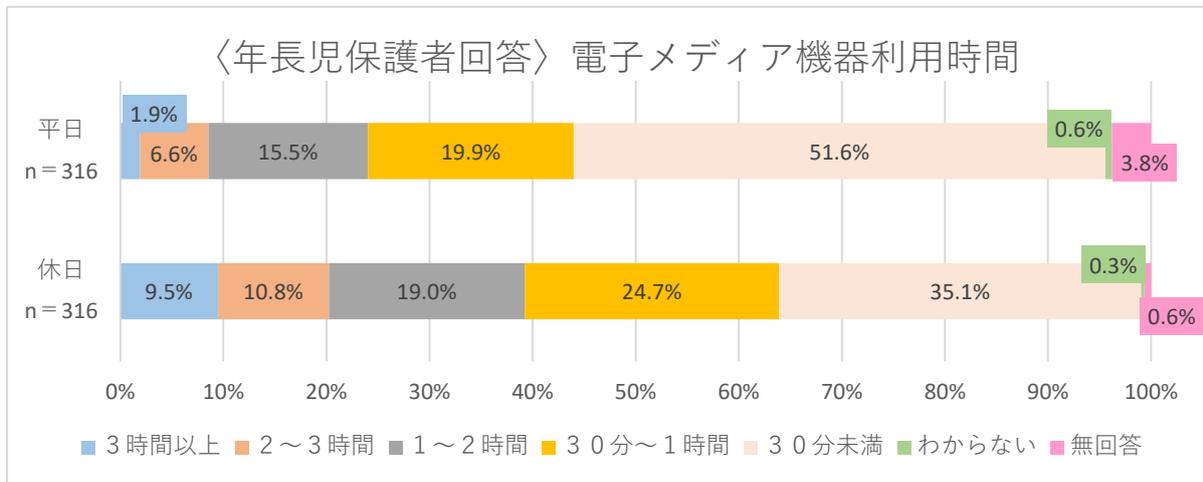
- ・ 4割近くが「子どもが希望したから」と回答している。次いで「子どもがおとなしくしているから」と回答しており、前回より9.9ポイント増えている。

(7) 1日の利用時間

〈保護者〉Q12. あなたのお子様は平日(月曜日から金曜日)、それらの機器を1日平均何時間くらい利用しますか。

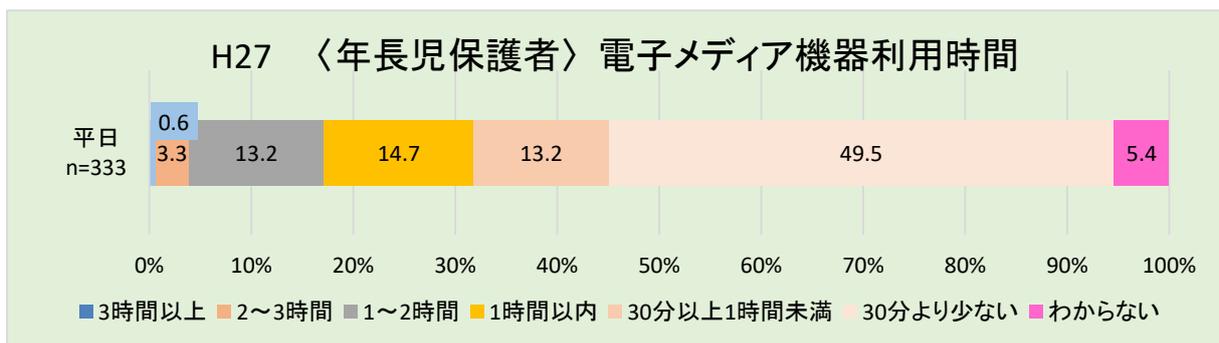
Q13. あなたのお子様は休日(土曜日・日曜日)、それらの機器を1日平均何時間くらい利用しますか。

(対象：子どもがいずれかの機器を利用していると回答した保護者)

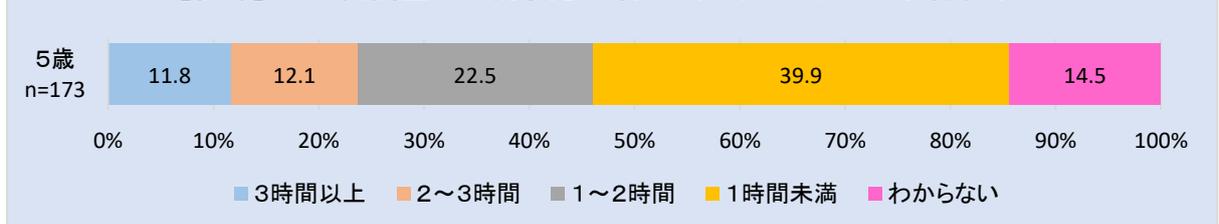


【参考】平成27年度

〈年長児保護者〉Q10. あなたのお子様は平日(月曜日から金曜日)、それらの機器を1日平均何時間くらい利用しますか。



【参考】〈全国調査〉未就学児(5歳)のインターネット利用時間(平日)



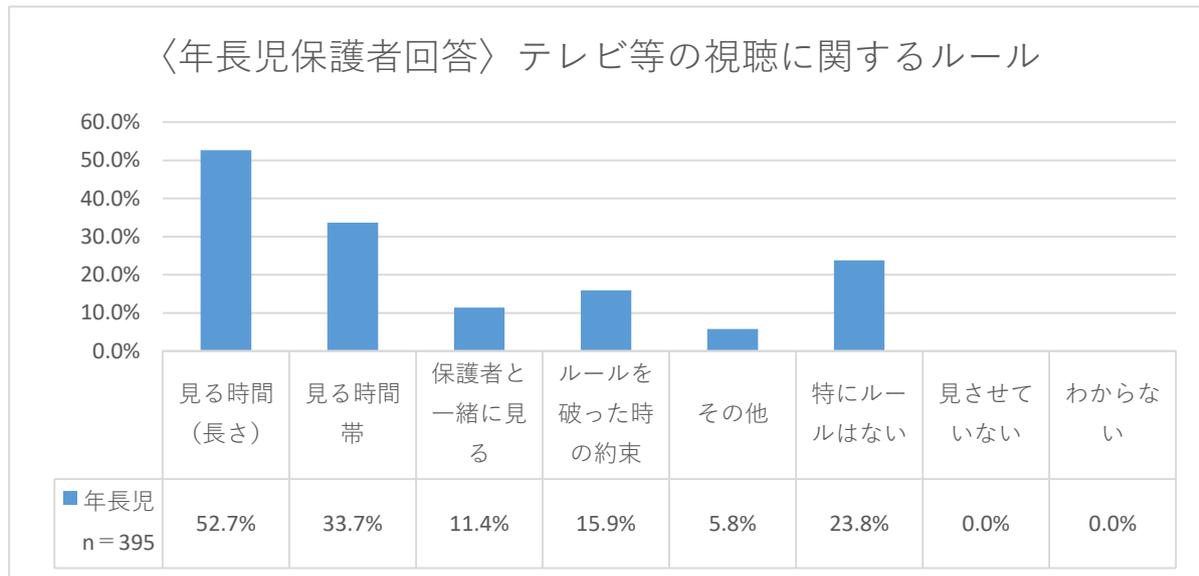
出典 「平成30年度青少年のインターネット利用環境実態調査」(内閣府)

〈【年長児】電子メディア機器の利用時間〉

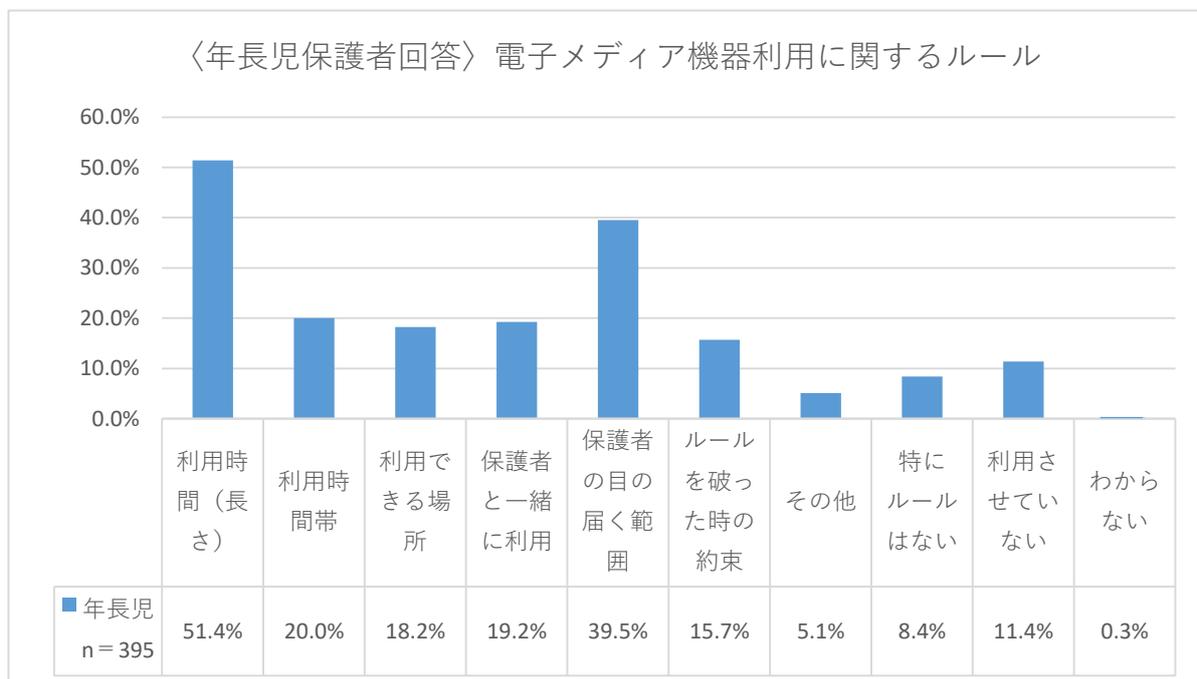
- ・平日は30分未満が半数以上だが、電子メディア機器を利用している年長児の24.0% (全年長児の19.2%) が1時間以上利用しており、前回調査と比べて6.9ポイント (全年長児では7.3ポイント) 増加している。また、2時間以上の利用は8.5% (全年長児の6.8%) であった。
- ・休日は電子メディア機器を利用している年長児の39.3% (全年長児の31.4%) が1時間以上利用しており、この中でも9.5% (全年長児の7.6%) が3時間以上利用している。休日に利用時間が伸びる傾向がうかがえる。

(8) 家庭での約束やルール

〈保護者〉Q14. あなたのご家庭では、お子様のテレビ(DVD・ビデオ視聴を含む)の視聴に何らかのルールや約束事がありますか。(あてはまるものすべてを選択) (対象：全回答者)



〈保護者〉Q15. あなたのご家庭では、お子様の電子メディア機器(テレビ以外のスマートフォン・携帯電話・パソコン・ゲーム機・音楽プレーヤーなど)の利用に何らかのルールや約束事がありますか。(あてはまるものすべてを選択) (対象：全回答者)

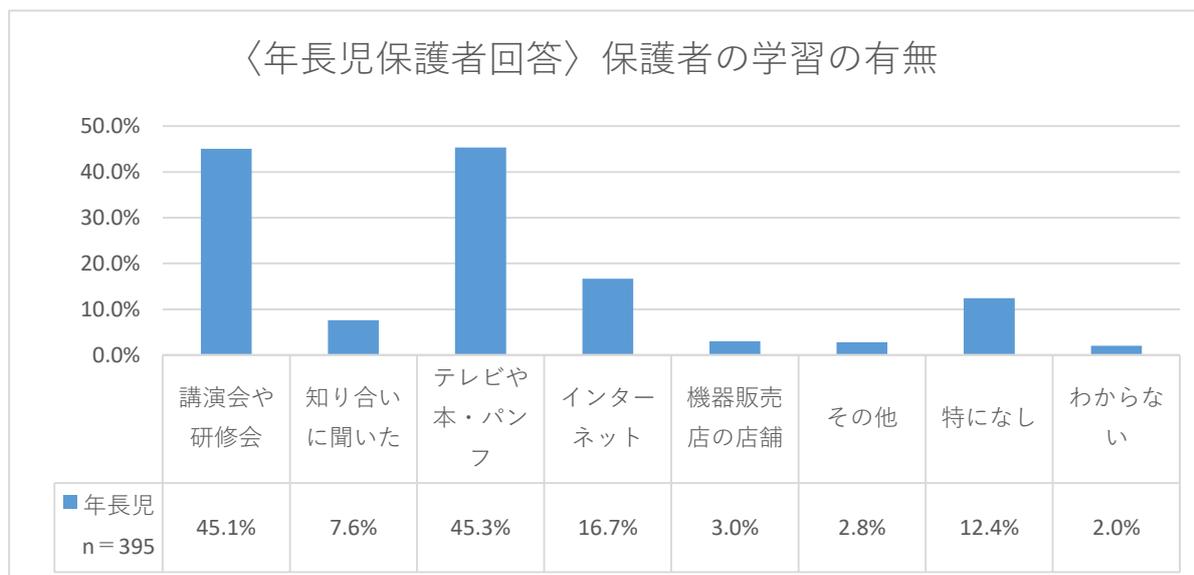


〈【年長児】家庭での約束やルール〉

- ・ テレビ等でも電子メディア機器でも、利用時間を決めると回答している保護者が一番多い。
- ・ 電子メディア機器について「特にルールはない」とする割合が前回調査(14.4%)より6ポイント低下しており、家庭におけるルールの大切さについて徐々に浸透してきていると考えられる。

(9) インターネットについての学習の経験

〈保護者〉Q16. あなたは、インターネットの危険性について、説明を受けたり、学んだりしたことがありますか。(対象：全回答者)

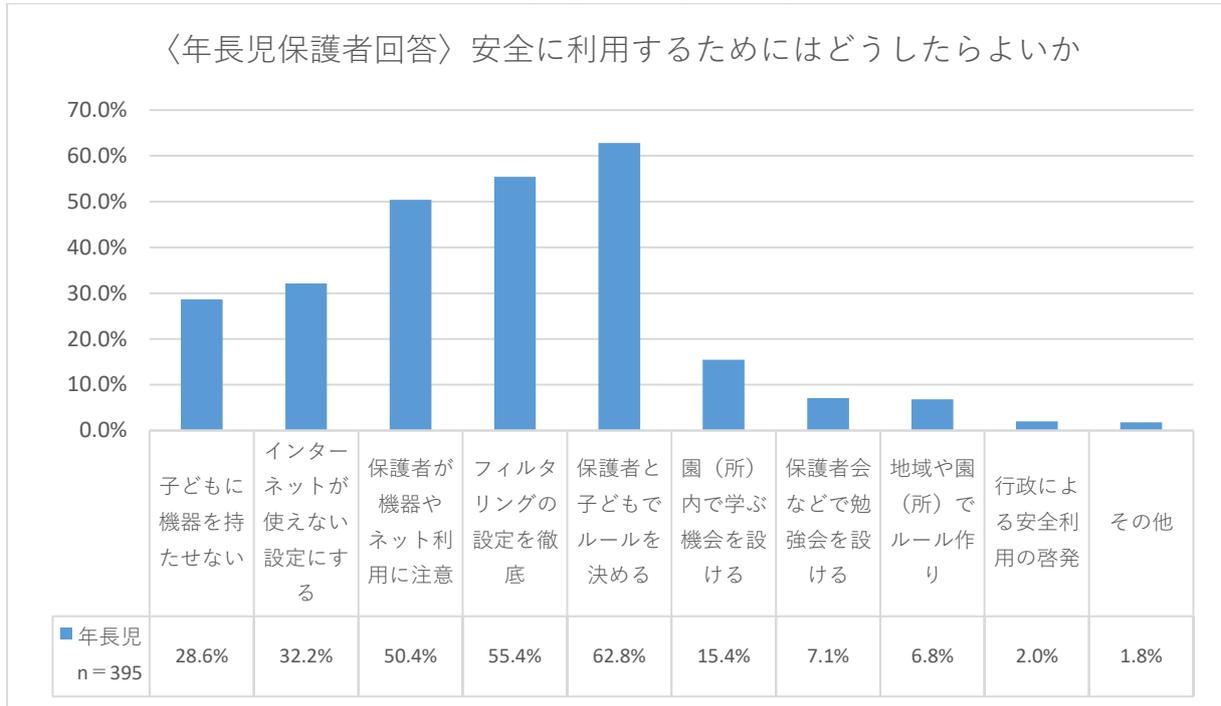


(インターネットについての学習の経験について)

- ・「特になし」の割合が、前回調査（20.3%）より7.9ポイント低下しており、学習機会が増えていることが見てとれる。

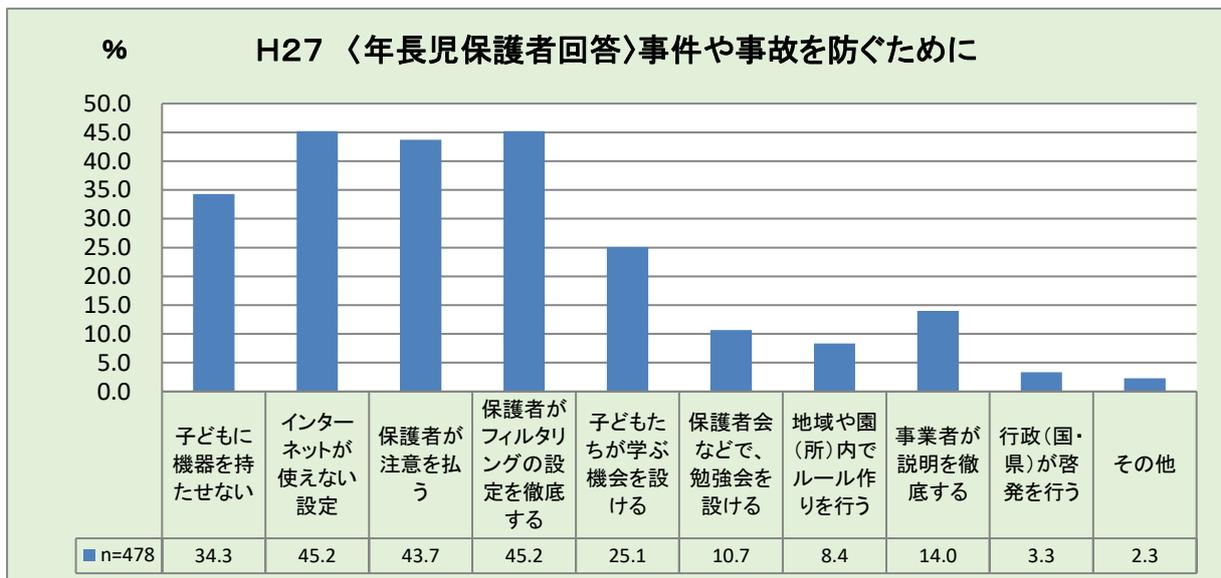
(10) 事件・事故を防ぐために

〈保護者〉Q18. 未就学の子どもたちが、インターネットに接続できる機器(スマートフォン、ゲーム機等)を安全に利用し、事件や事故を防ぐためには、どうすればよいと思いますか。(あてはまるもの3つ以内を選択) (対象: 全回答者)



【参考】平成27年度

〈年長児保護者〉Q15. 就学前の子どもたちが、インターネットを使った機器(スマホ、ゲーム機等)を安全に利用し、事件や事故を防ぐためには、どうすればよいと思いますか。(あてはまるもの3つ以内を選択)



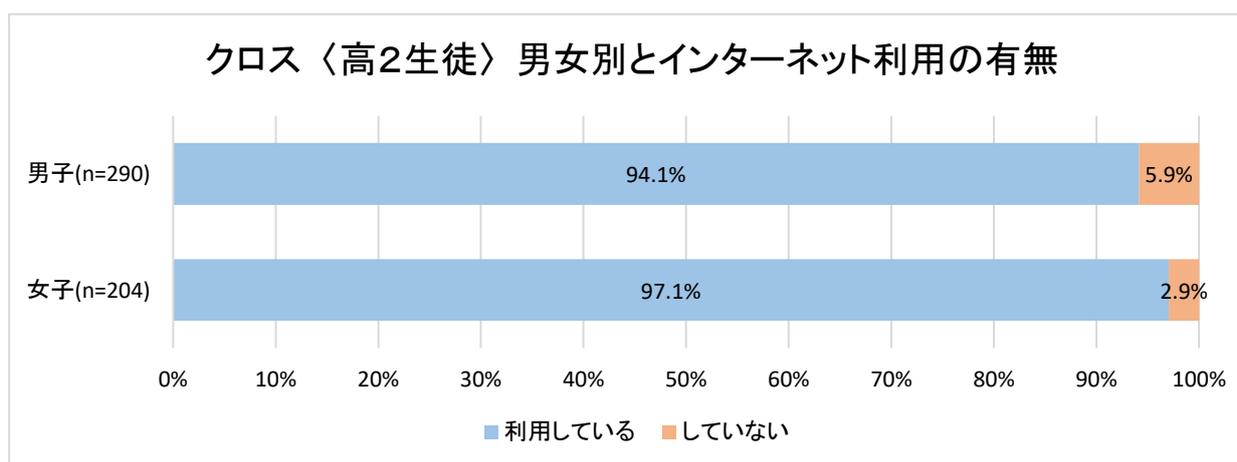
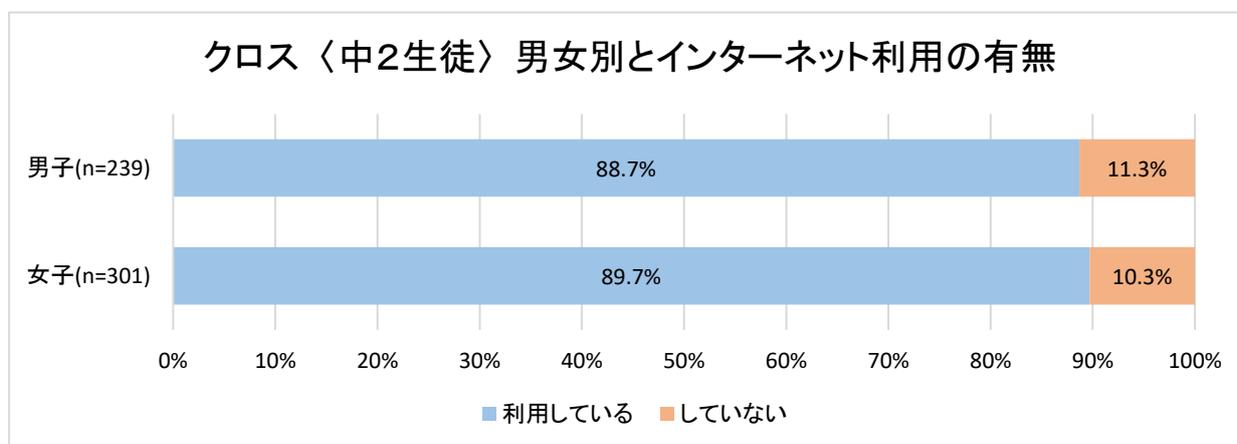
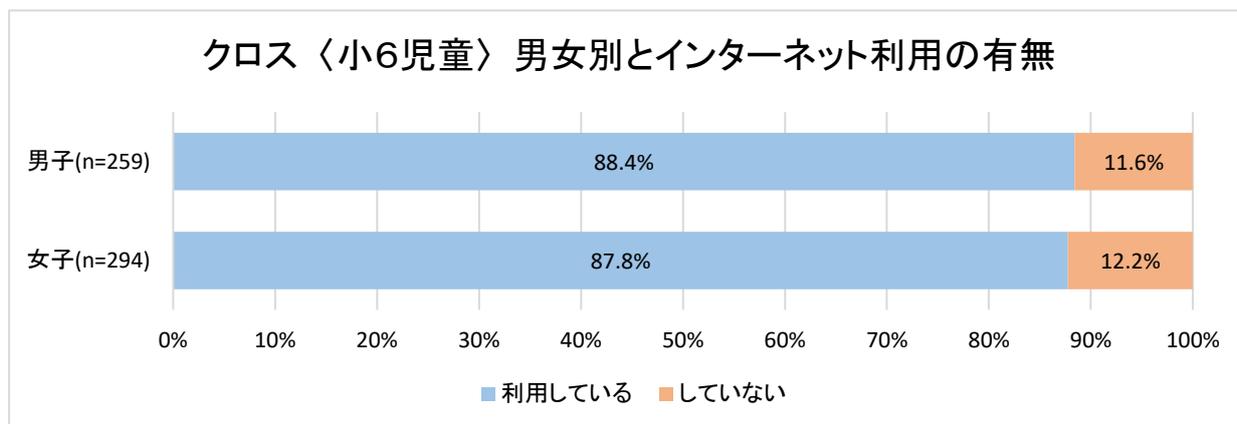
〈【年長児】事件・事故を防ぐために〉

- ・ 選択肢が異なるため単純に比較できないが、前回と比べ「機器を持たせない」「インターネットが使えない設定にする」が減少し、「フィルタリングの設定を徹底する」「保護者が機器やインターネットの利用に注意を払う」が増加している。また、新たな選択肢である「保護者と子どもでルールを決める」と回答した割合が一番多いこともあり、保護者自身が(子どもとともに)取り組む対策の必要性に関する認識が高まっていることがうかがえる。

## 1 1 生活習慣等との関係〔クロス集計〕

【児童・生徒調査】

(1) 性別とインターネット利用

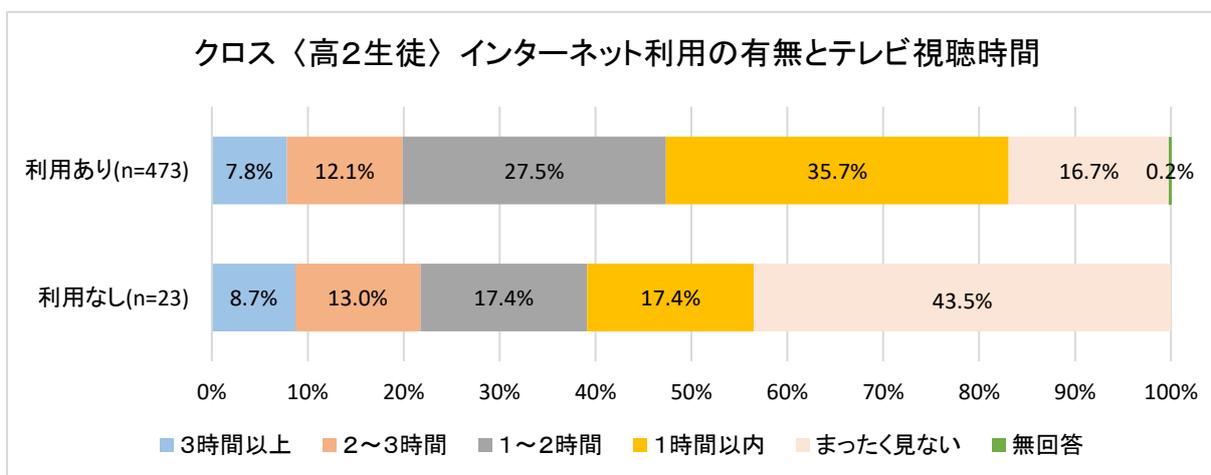
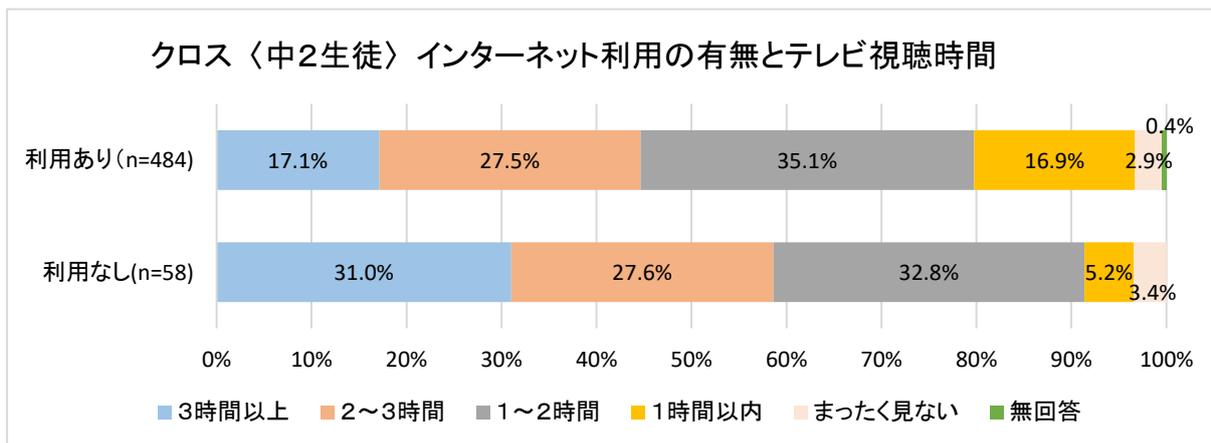
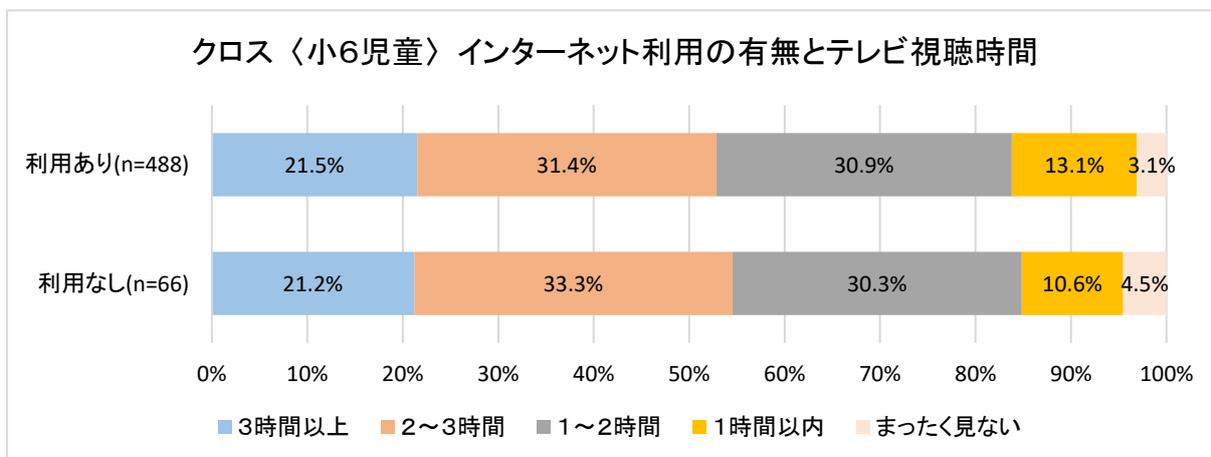


〈性別とインターネット利用〉

- ・男女の差は大きくないが、小6は男子、中2、高2は女子の方がインターネットを使用している割合がやや高い。

(2) インターネット利用とテレビの視聴時間

※高2の「インターネット利用なし」は標本数が50未満のため参考値として掲載しています。  
また、分析の対象から除いています。

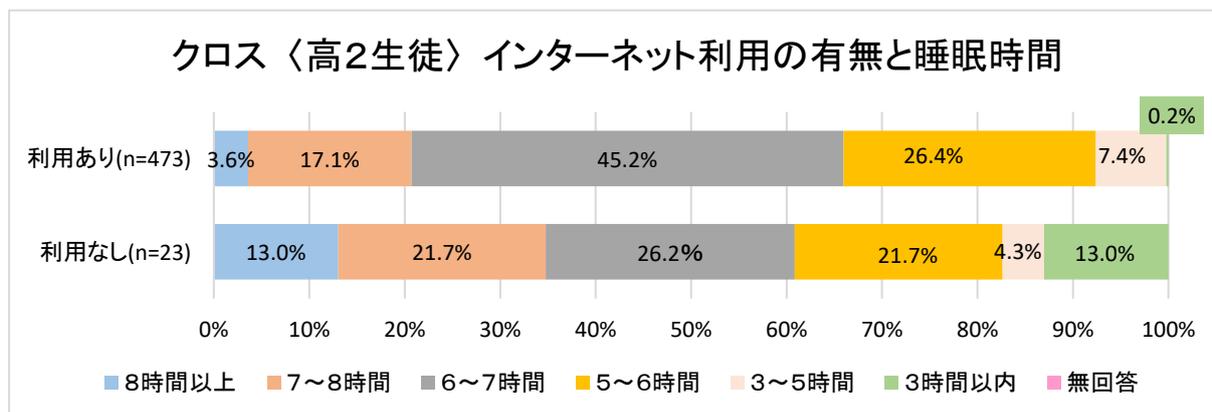
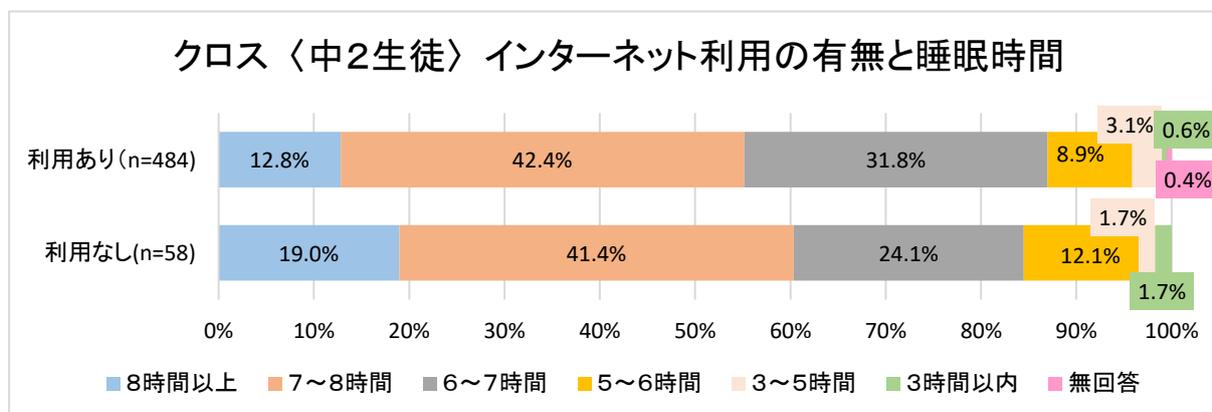
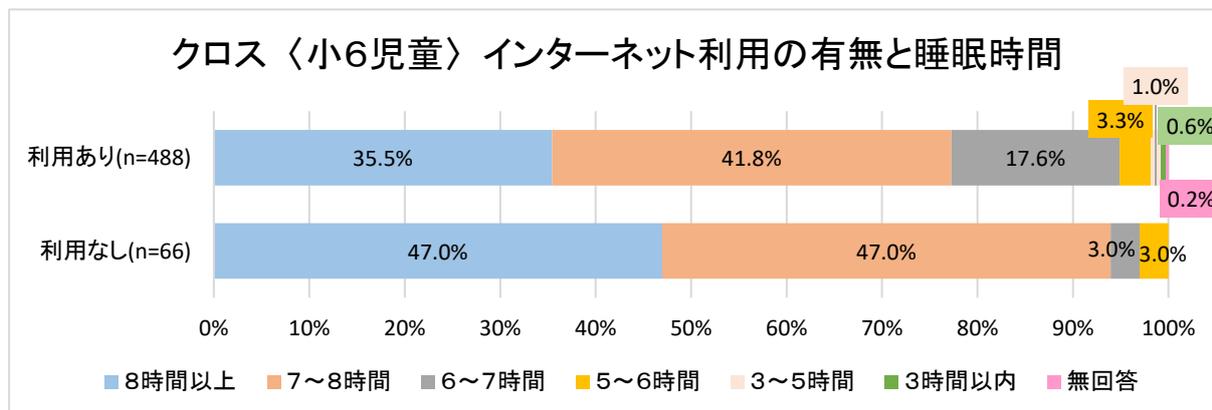


〈インターネット利用とテレビの視聴時間〉

- ・小6は、インターネット利用の有無でテレビ視聴時間に大きな差は見られない。
- ・中2は、インターネットを利用しない生徒の方がテレビ視聴の割合が長い傾向がある。

### (3) インターネット利用と睡眠時間

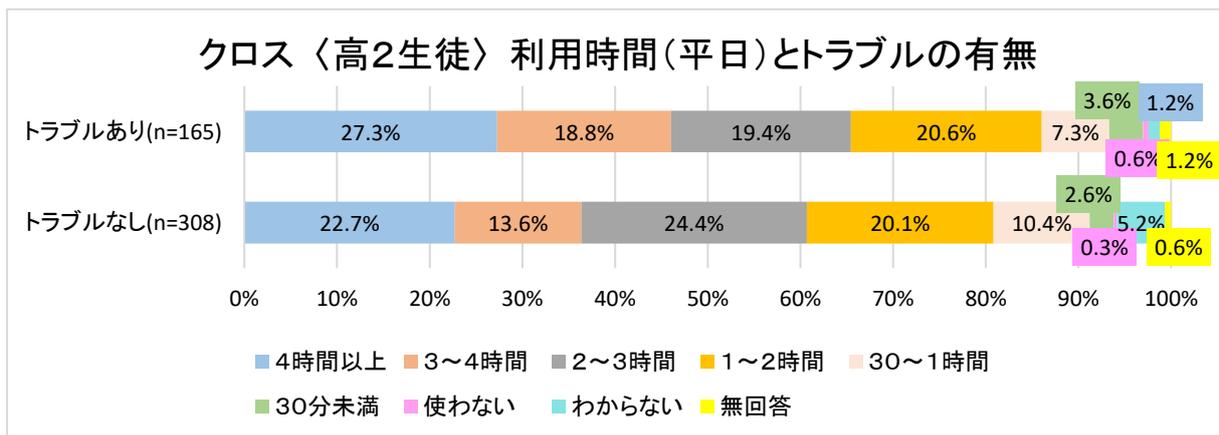
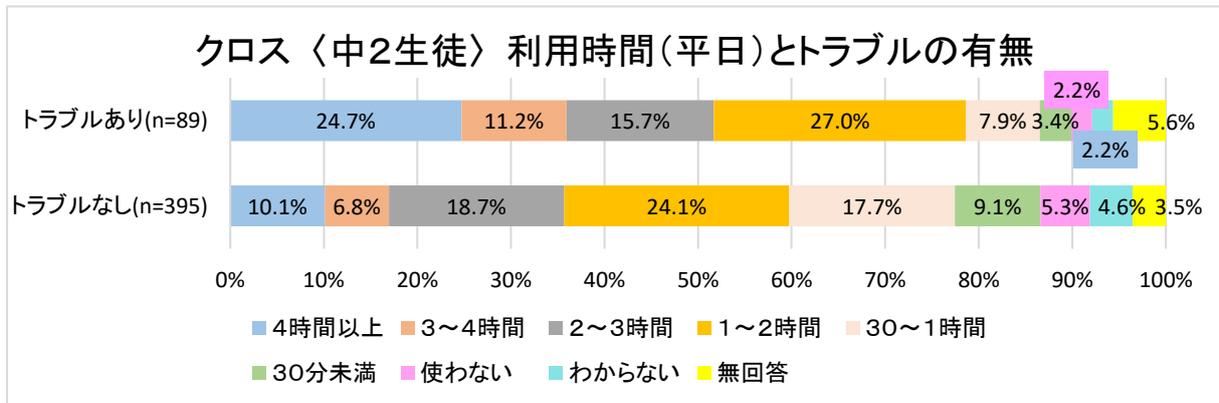
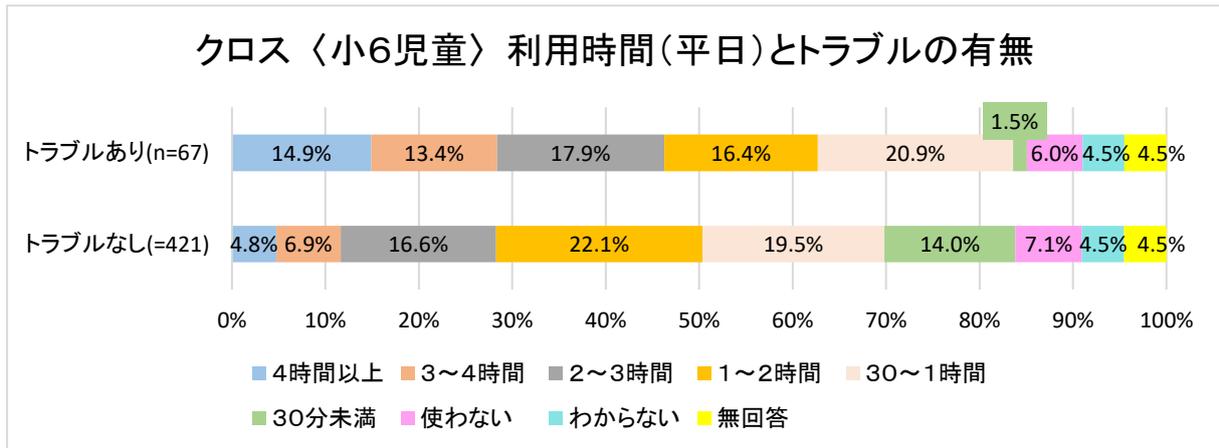
※高2の「インターネット利用なし」は標本数が50未満のため参考値として掲載しています。  
また、分析の対象から除いています。



#### 〈インターネット利用と睡眠時間〉

- ・小6・中2はインターネットを利用している児童・生徒のほうが睡眠時間が短い傾向にある。

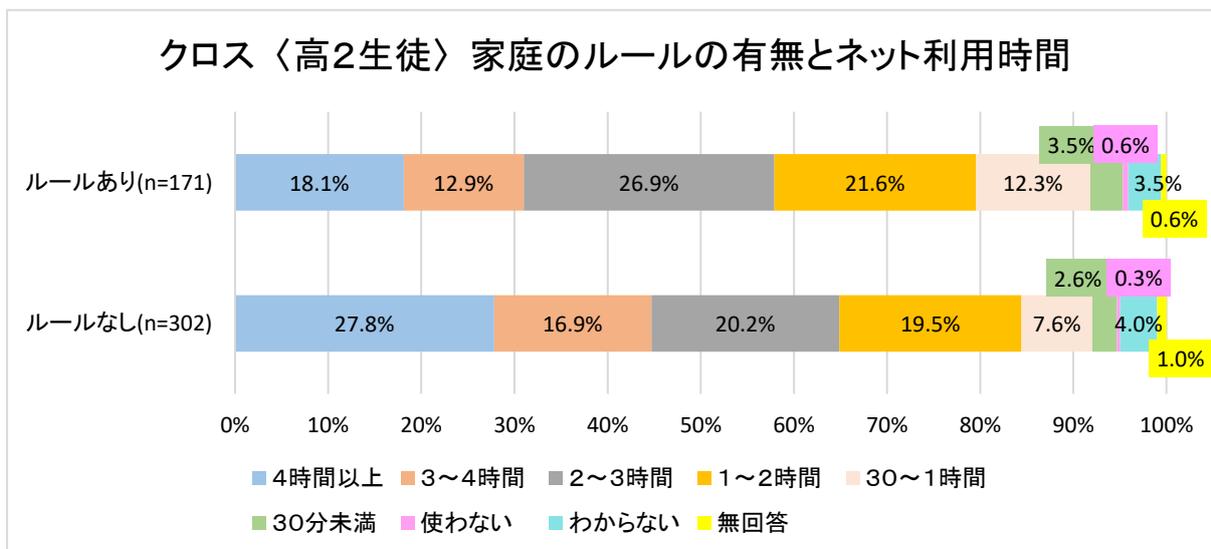
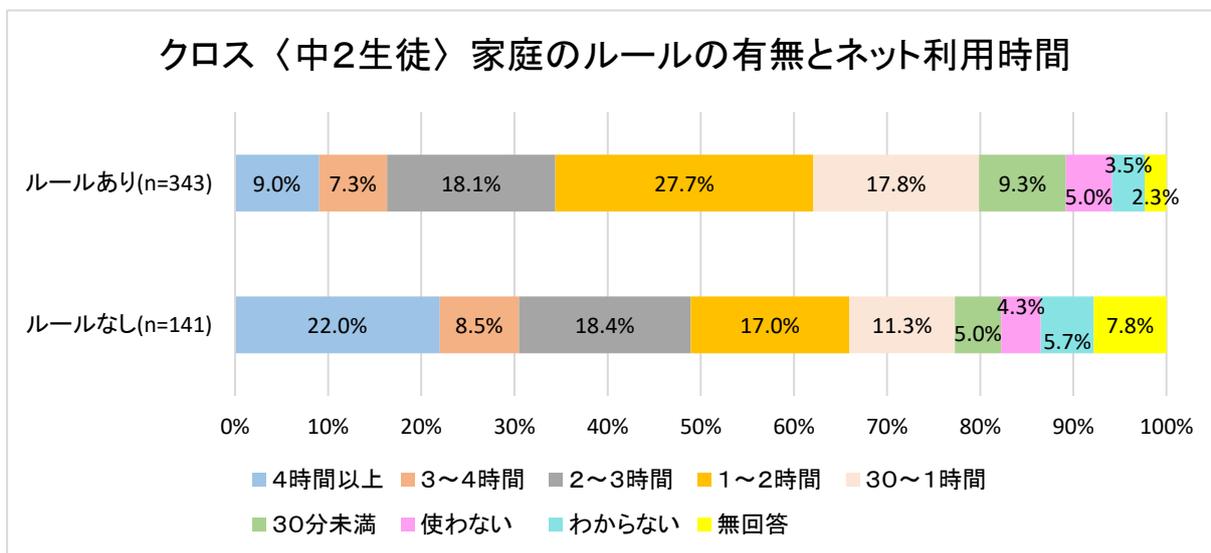
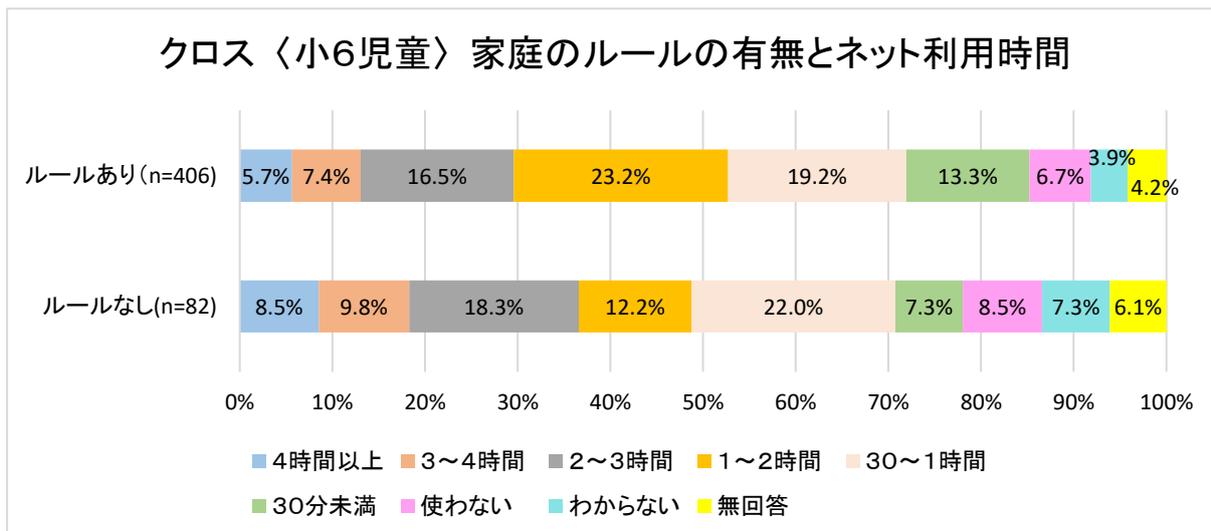
(4) インターネット利用時間とトラブル経験の有無



〈インターネット利用時間とトラブルの有無〉

- ・全体として「トラブルあり」のほうが、利用時間が長い傾向にあり、平日3時間以上インターネットを利用している児童・生徒のトラブル経験の割合が高い。
- ・小6はインターネット利用が平日30分未満の児童が、中2・高2では平日1時間未満の生徒がトラブル経験が少ない傾向にある。

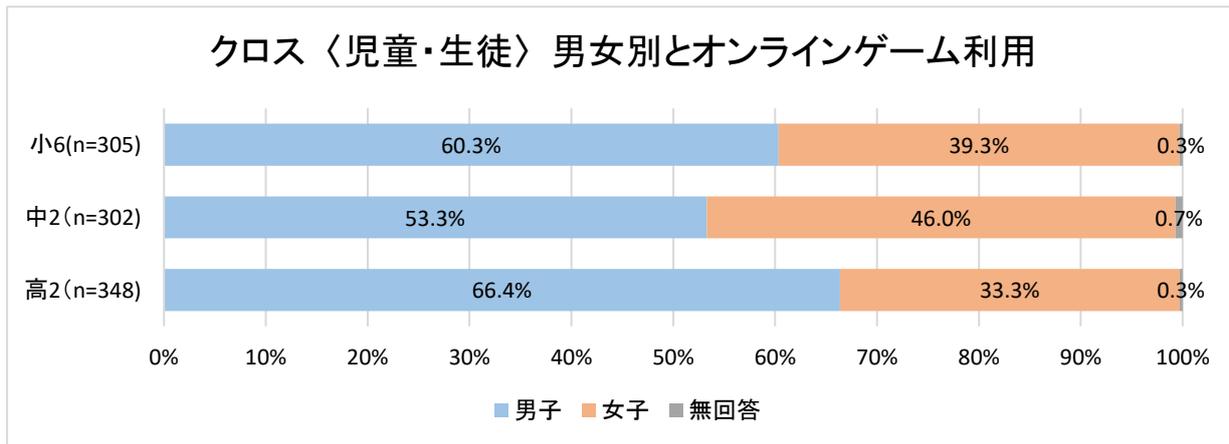
(5) 家庭でのルールの有無とインターネット利用時間



〈家庭でのルールの有無とインターネット利用時間〉

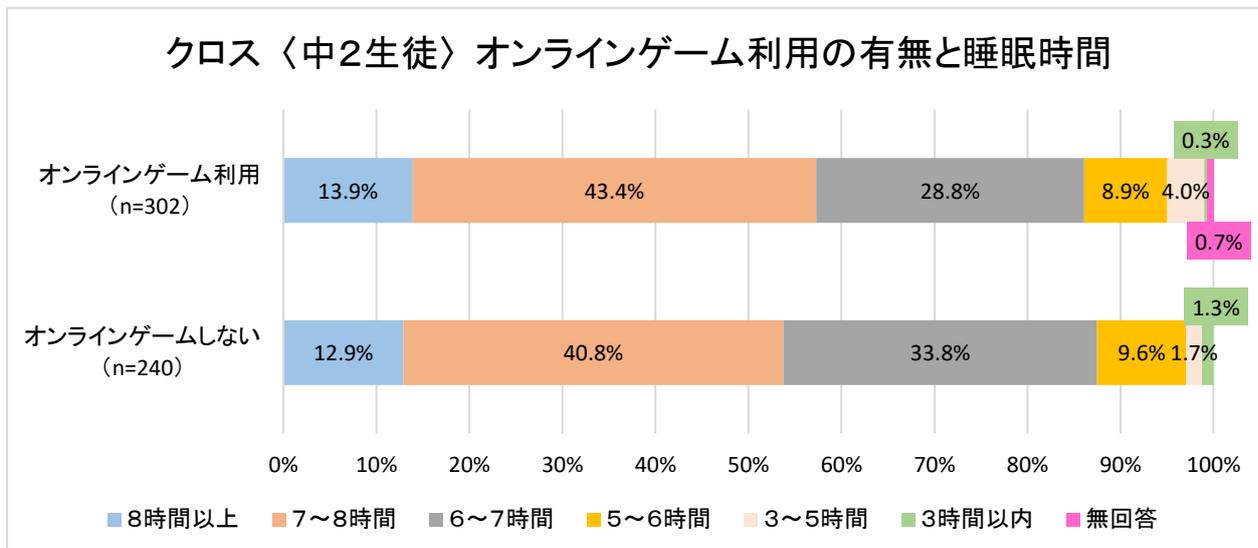
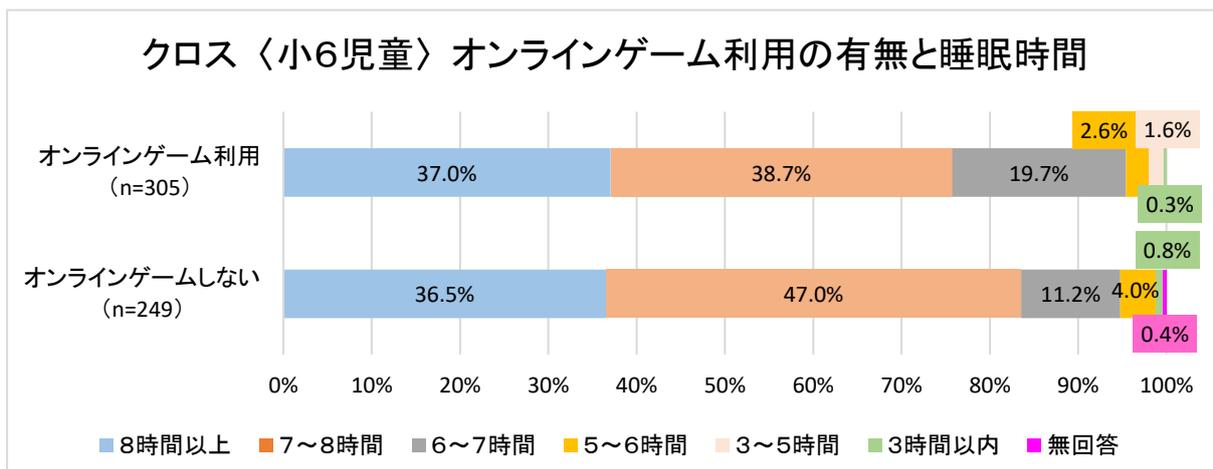
- ・全ての学校種において、家庭でのルールがない児童・生徒ほど3時間以上インターネットを利用している割合が多く、小6、中2では、2時間以上利用している割合も多くなる。

(6) オンラインゲームとの関係

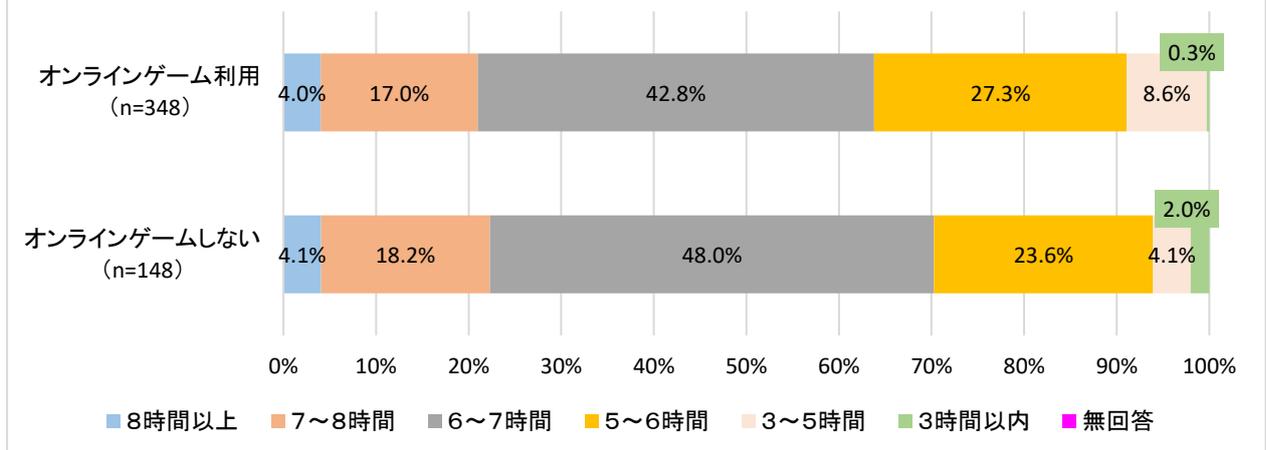


〈オンラインゲームと男女別〉

- ・オンラインゲームの利用は男子のほうが多い傾向にある。



## クロス〈高2生徒〉オンラインゲーム利用の有無と睡眠時間



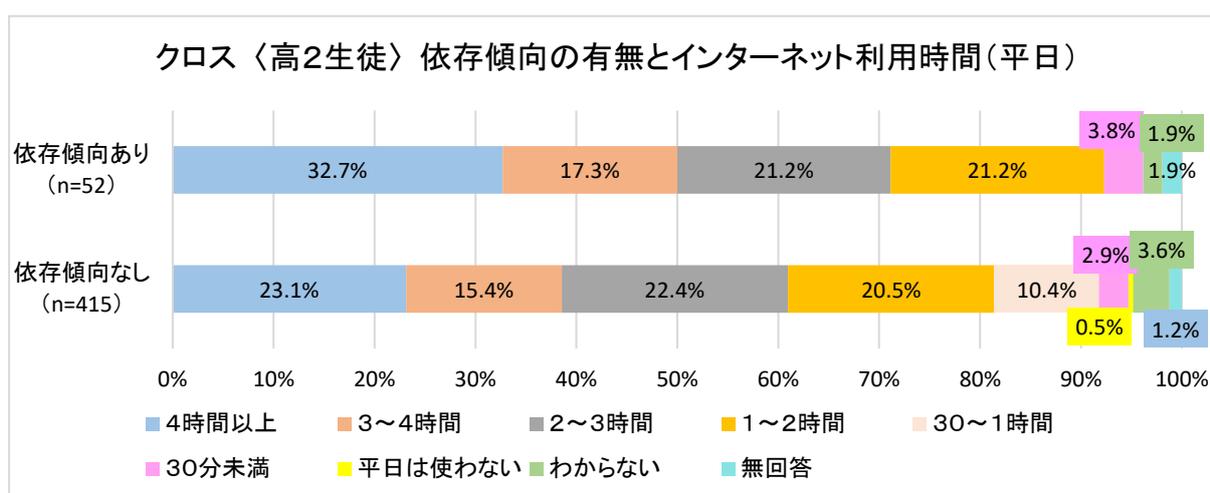
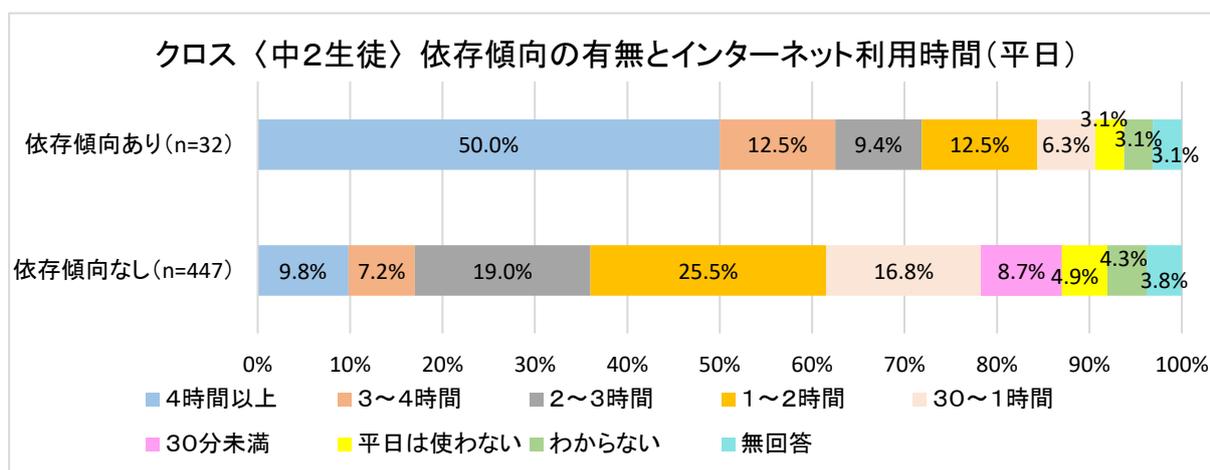
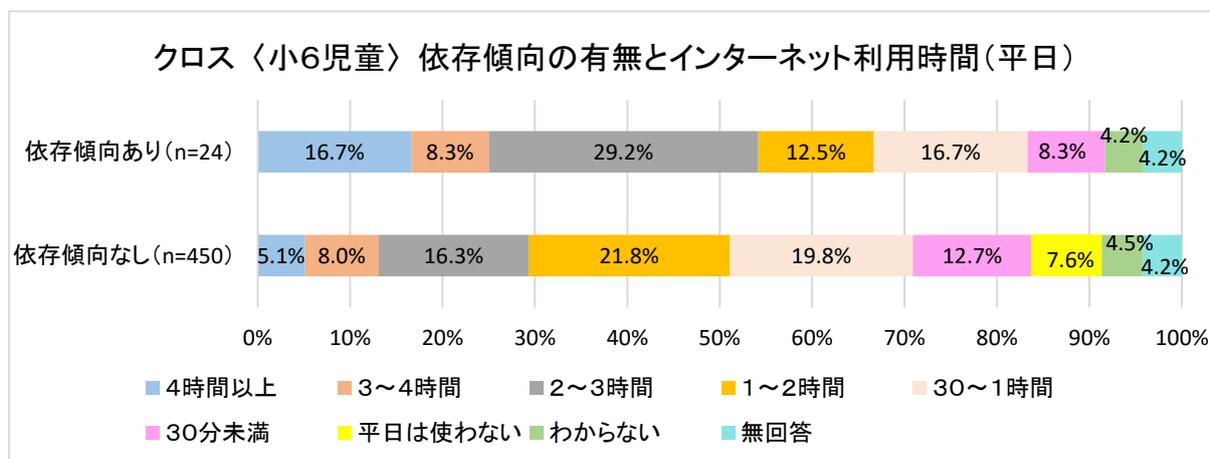
### 〈オンラインゲーム利用の有無と睡眠時間の関係〉

- ・小6については、オンラインゲーム利用をする児童の約4人に1人（24.2%）が7時間未満の睡眠であり、利用しない児童の約6人に1人（16.0%）を大きく上回っている。
- ・中高生については、オンラインゲームの利用の有無による睡眠時間の差は大きくないが、オンラインゲーム利用者について睡眠時間5時間未満の割合が大きい。

(7) 依存傾向の有無とインターネット利用時間

ここでいう「依存傾向あり」とは、p 39の「インターネット利用についての気持ちや状況について」の8個の調査項目のうち、5個以上の項目に「はい」と回答した場合としています。

※小6、中2の「依存傾向あり」は標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。

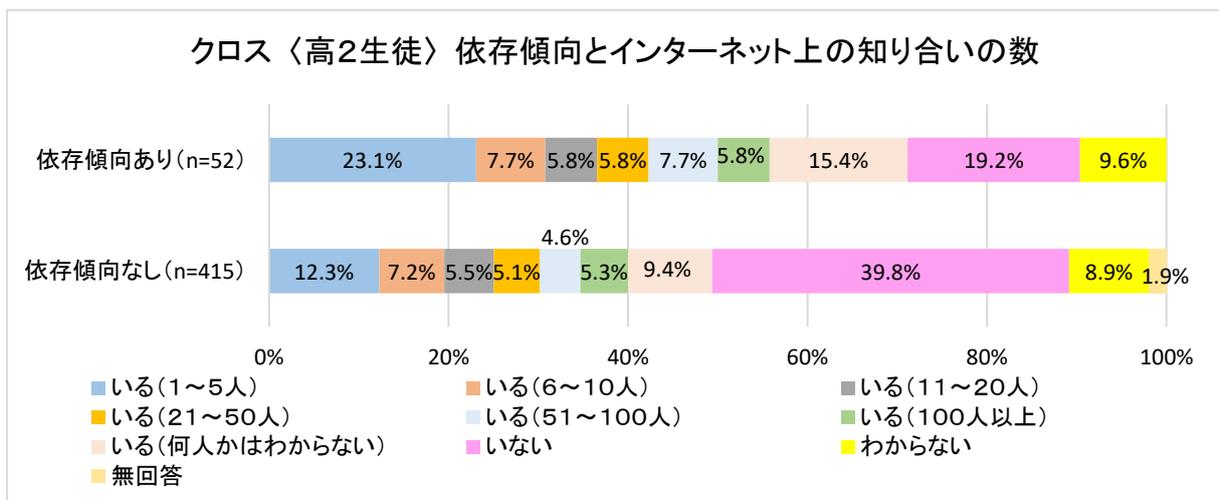
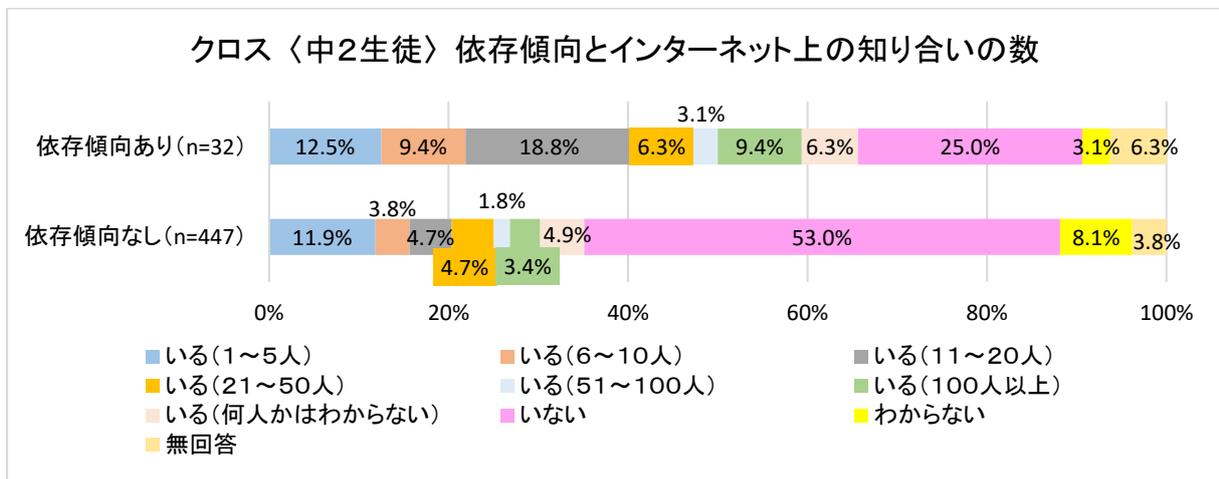
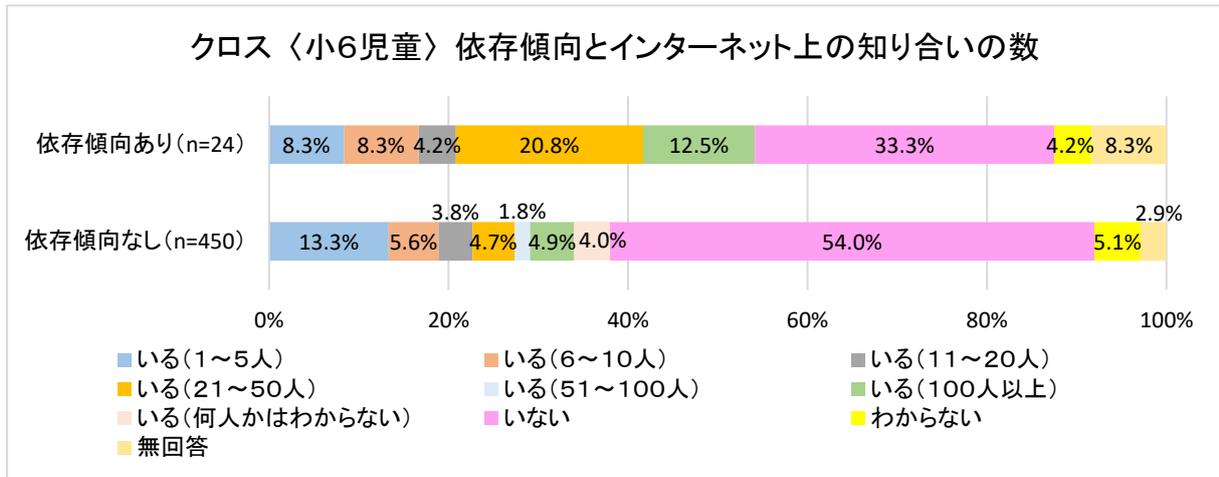


〈依存傾向の有無とインターネット利用時間〉

- ・高2において、全体として依存傾向がある生徒のほうが、インターネット利用時間が長く、依存傾向のある生徒がインターネットを平日3時間以上利用している割合は半数に及んでおり、3人に1人は4時間以上利用している。

(8) 依存傾向の有無とインターネット上の知り合いの数

※小6、中2の「依存傾向あり」は標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。

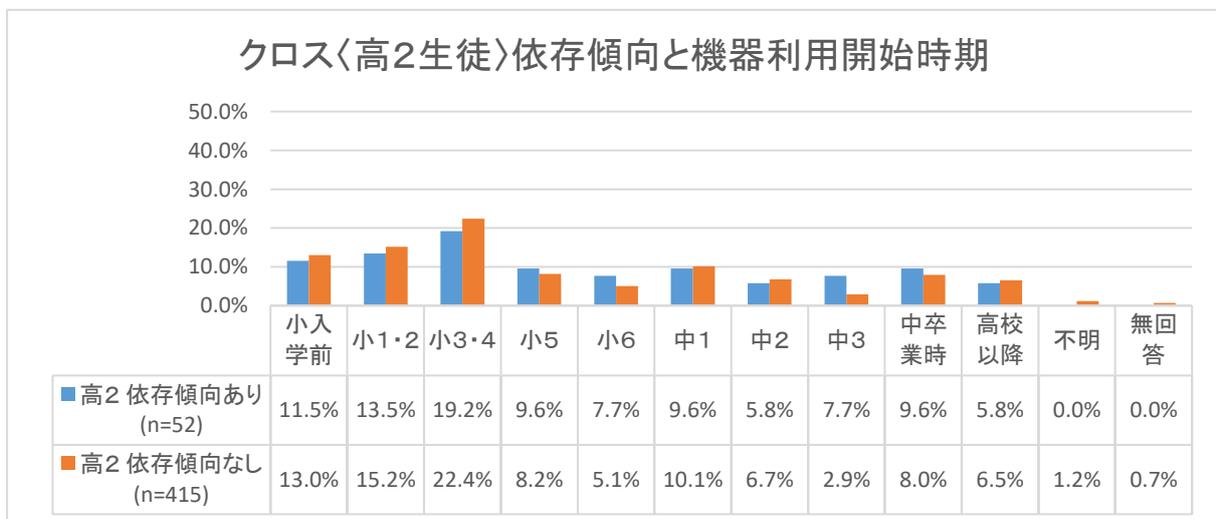
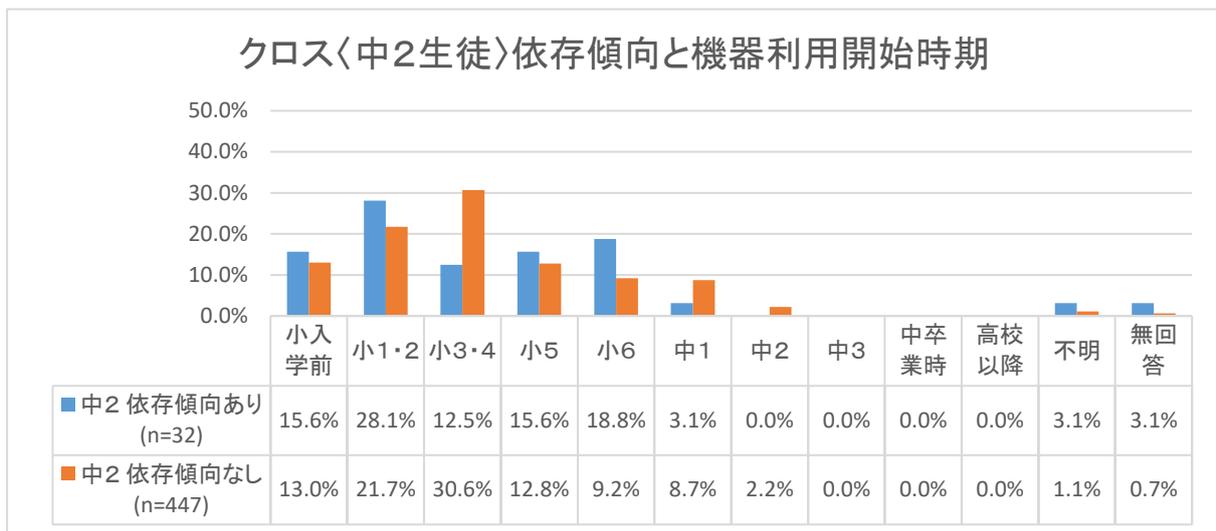
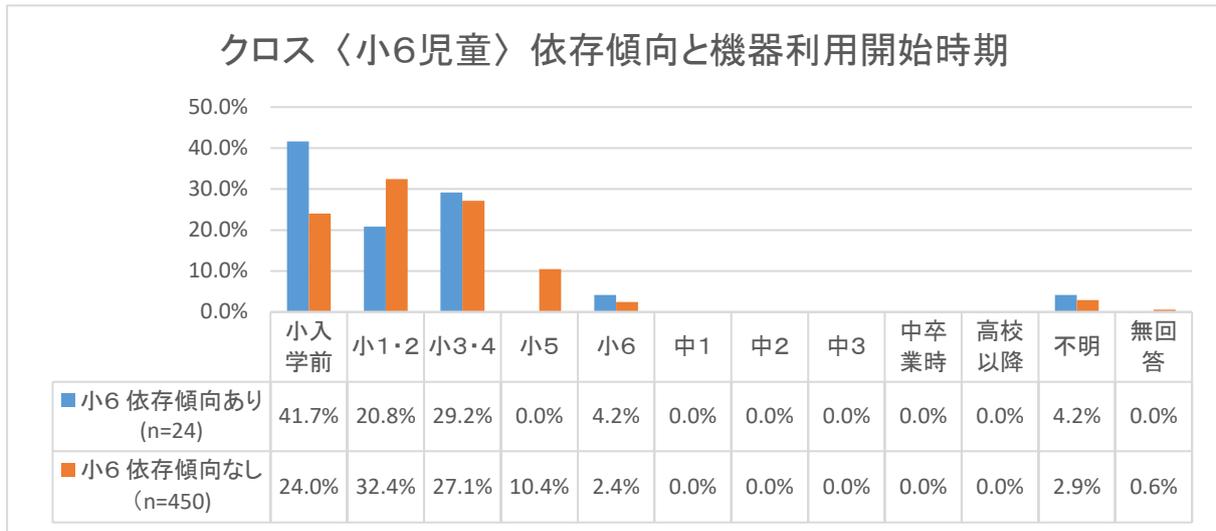


〈依存傾向の有無とインターネット上の知り合いの数〉

- ・高2について、依存傾向がある生徒のほうがインターネット上の知り合いが多い傾向にある。

(9) 依存傾向の有無と機器利用開始時期

※小6、中2の「依存傾向あり」は標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。

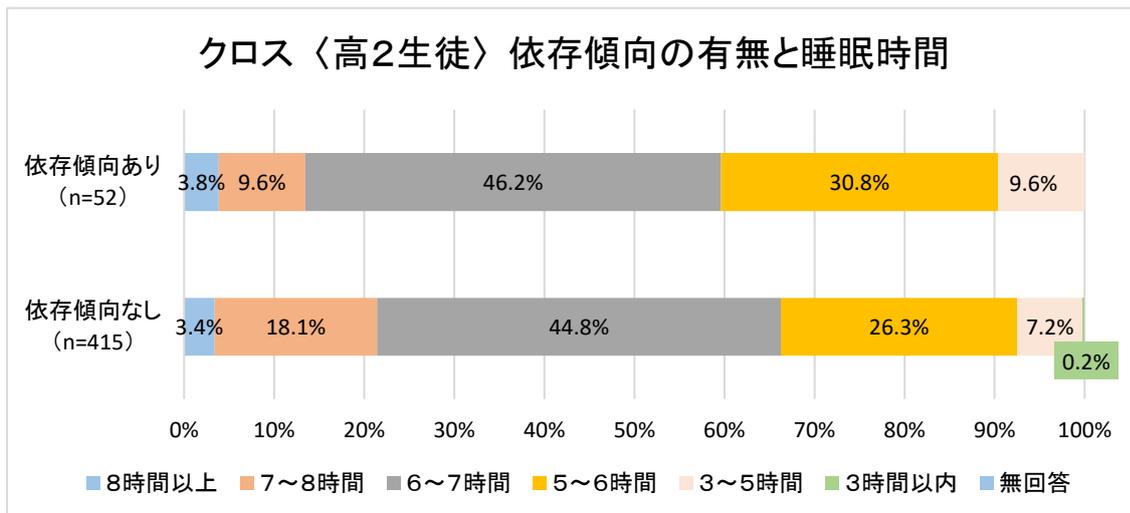
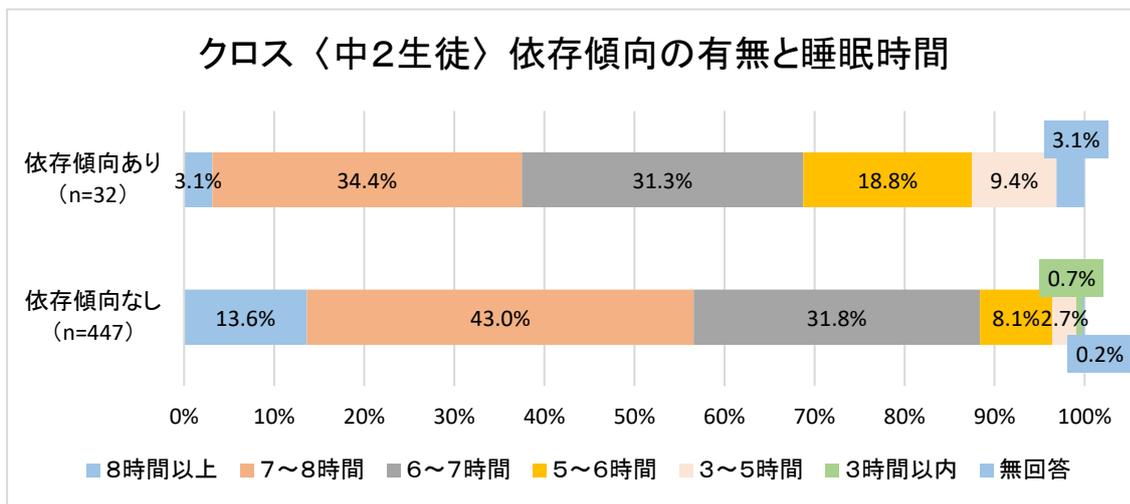
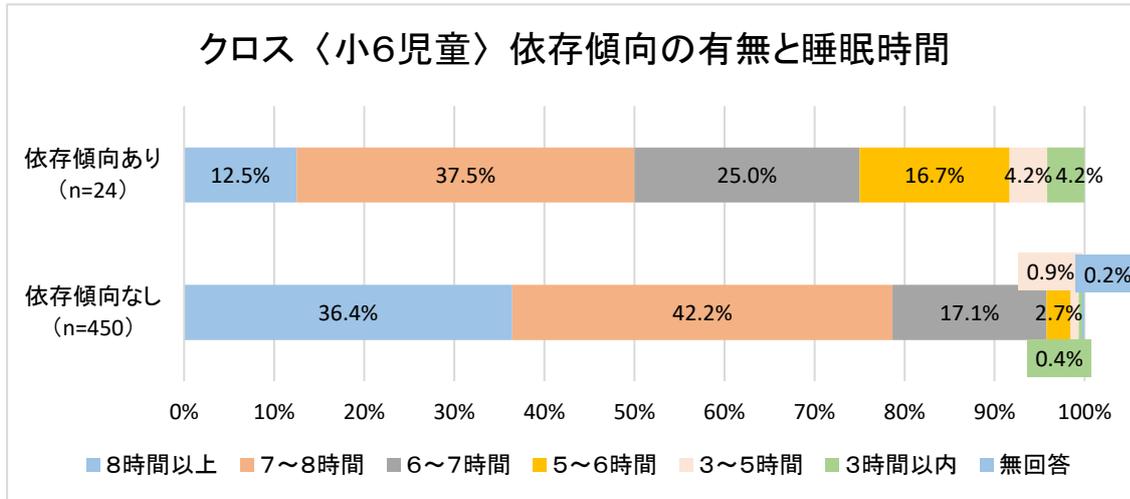


〈機器利用開始時期と依存傾向〉

- ・高2について、依存傾向の有無と利用開始時期に相関はみられなかった。

(10) 依存傾向の有無と睡眠時間

※小6、中2の「依存傾向あり」は標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。



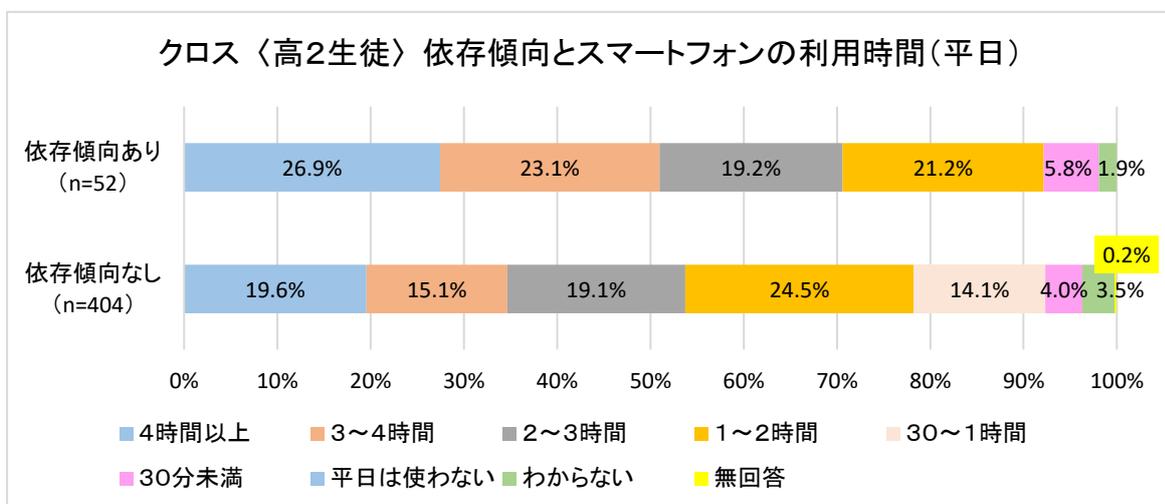
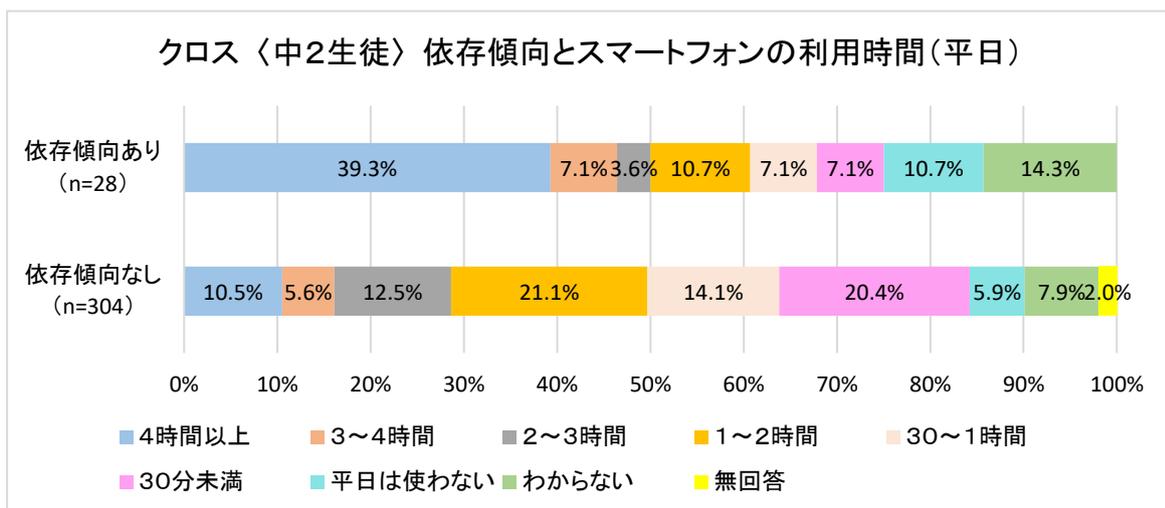
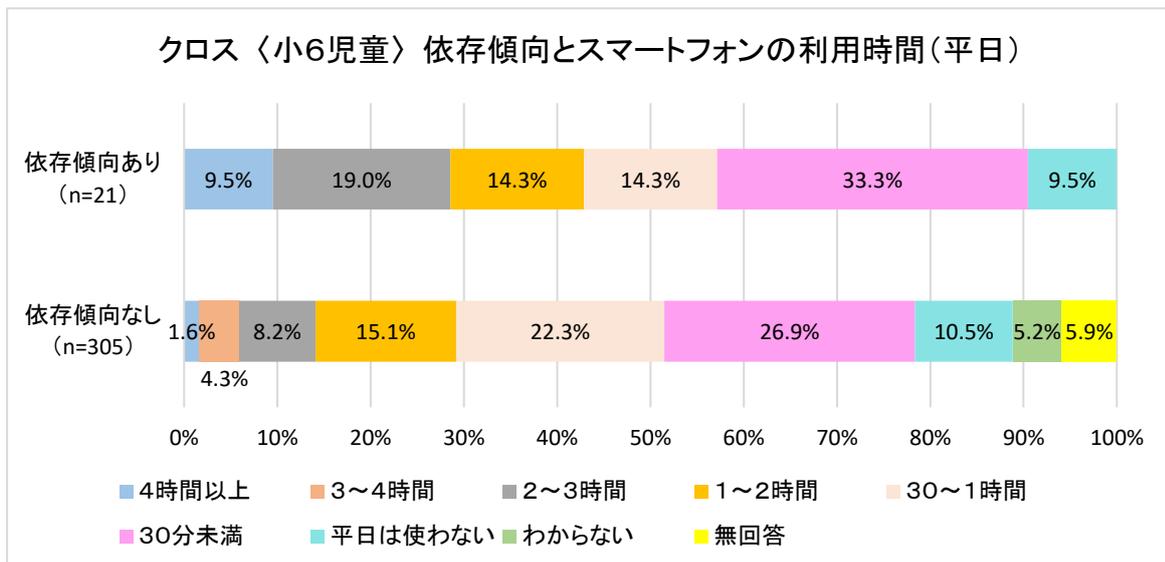
〈依存傾向の有無と睡眠時間〉

- ・高2について、依存傾向のある生徒のほうが、睡眠時間が短い傾向にある。

(11) 依存傾向の有無と機器別のインターネット利用時間

(スマートフォン)

※小6、中2の「依存傾向あり」は標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。

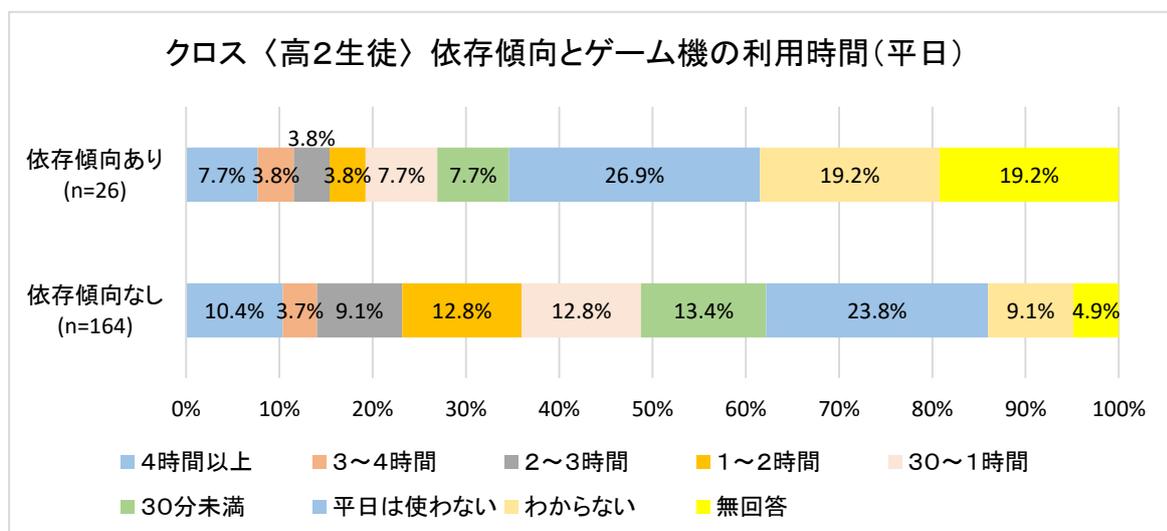
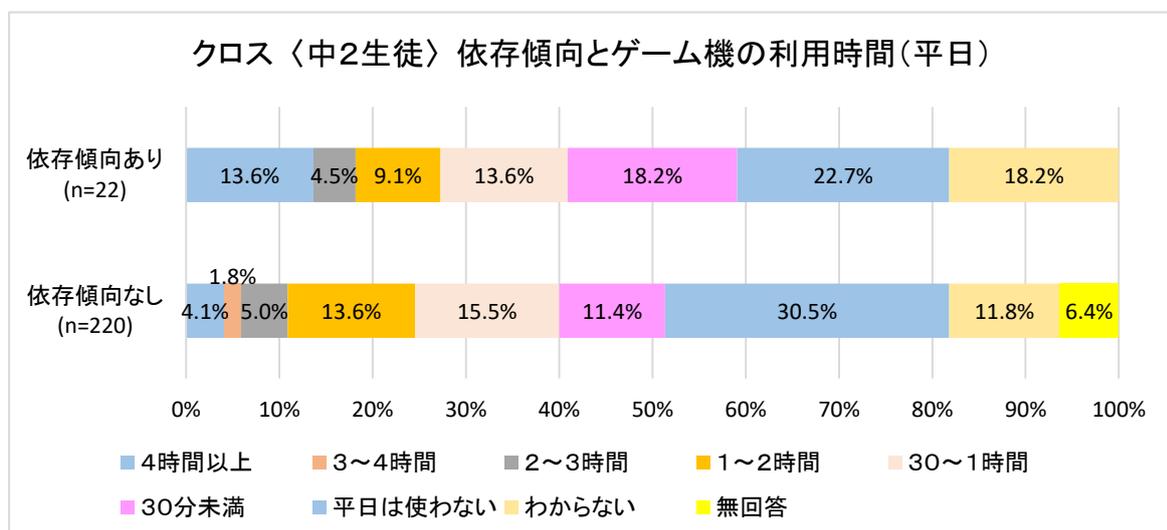
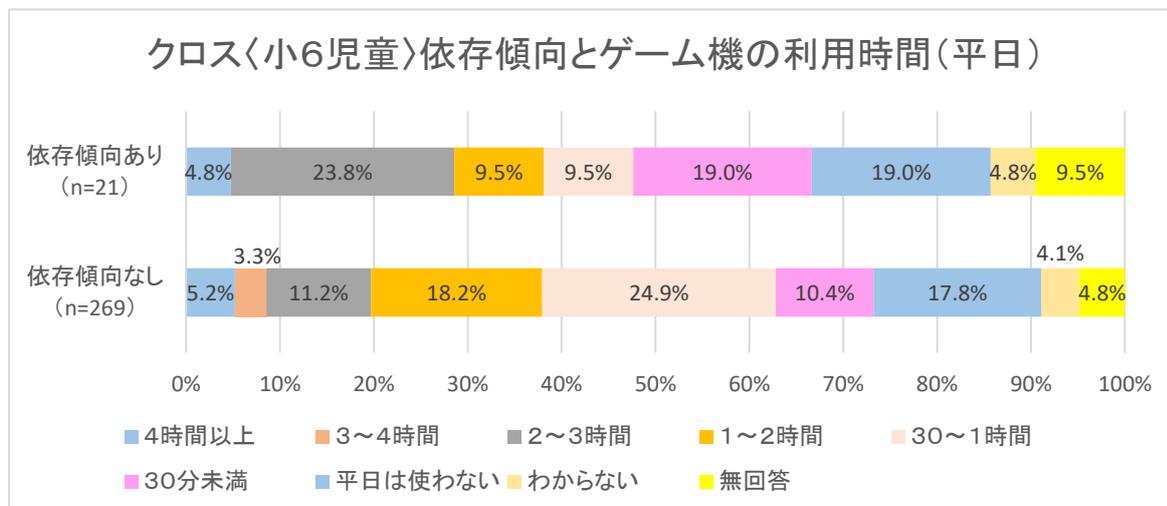


〈依存傾向の有無とスマートフォンの利用時間〉

・高2について、依存傾向にある生徒の方が、スマートフォンの利用時間が長い。

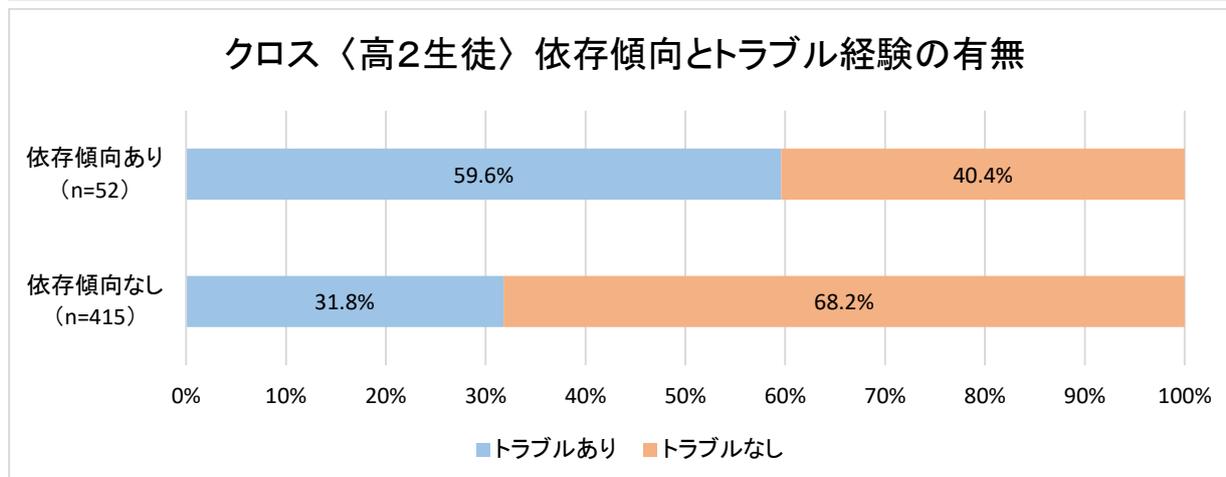
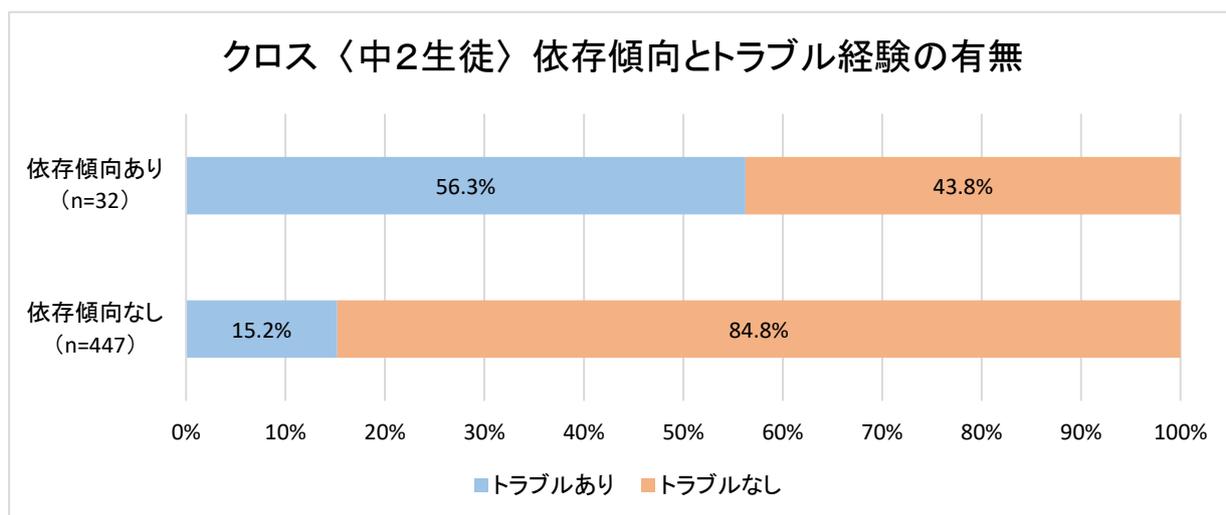
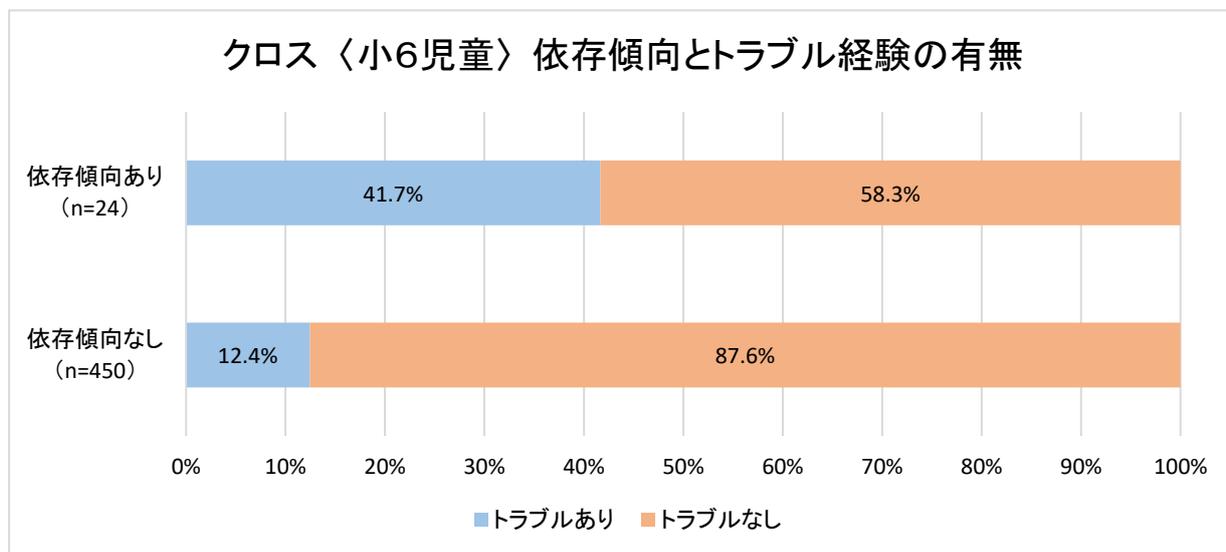
(ゲーム機)

※以下は「依存傾向あり」の標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。



(12) 依存傾向の有無とトラブル経験

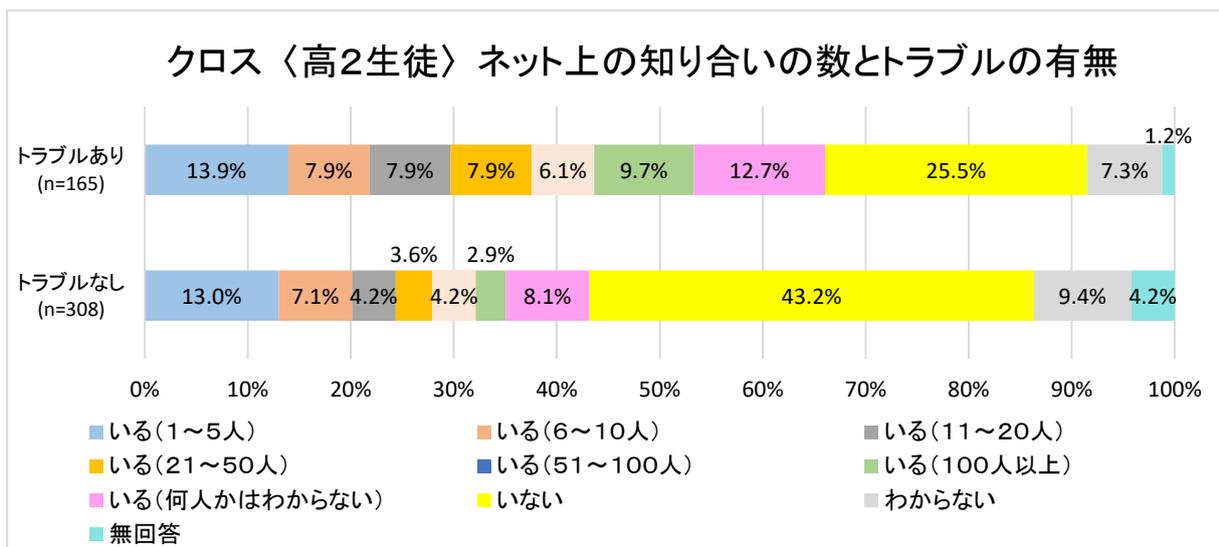
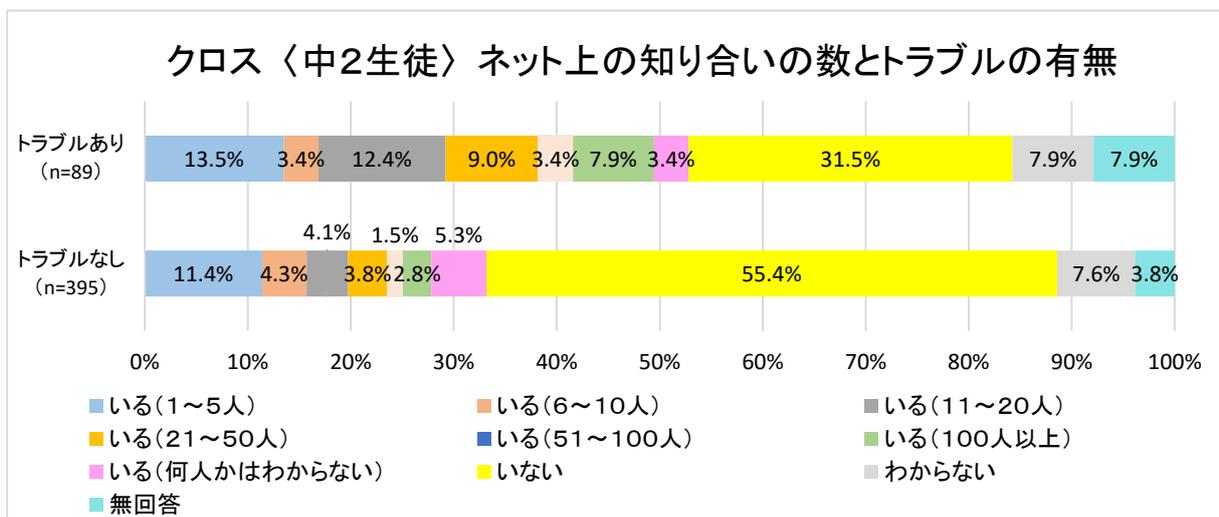
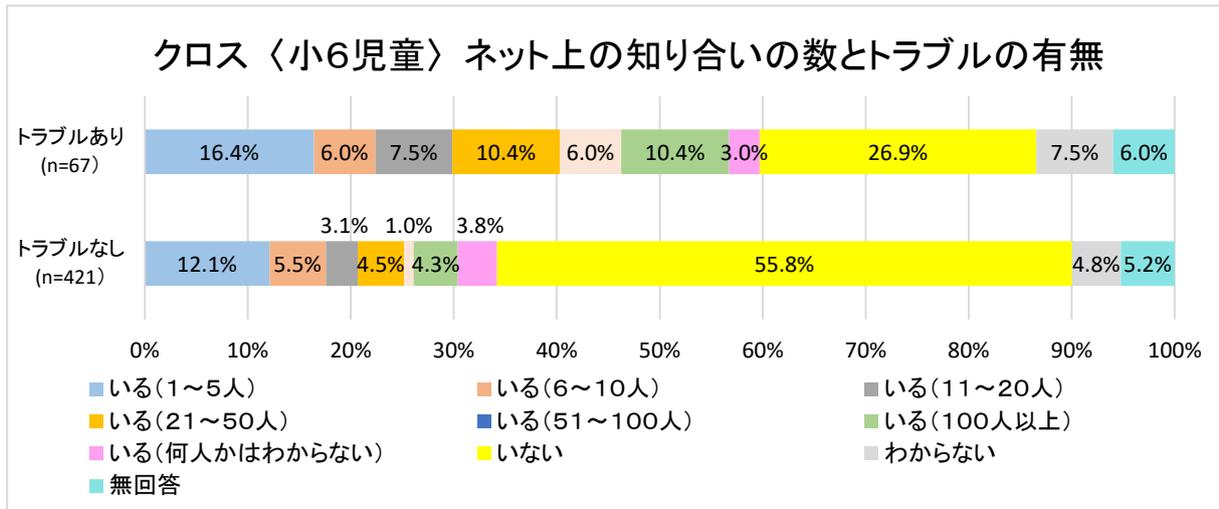
※小6、中2の「依存傾向あり」は標本数が50未満のため参考値として掲載しています。また、分析の対象から除いています。



〈依存傾向とトラブル経験〉

高2について、依存傾向のある生徒のほうが、トラブルを経験している割合が多い。

(13) インターネット上の知り合いの数とトラブル経験



〈インターネット上の知り合いの数とトラブル経験〉

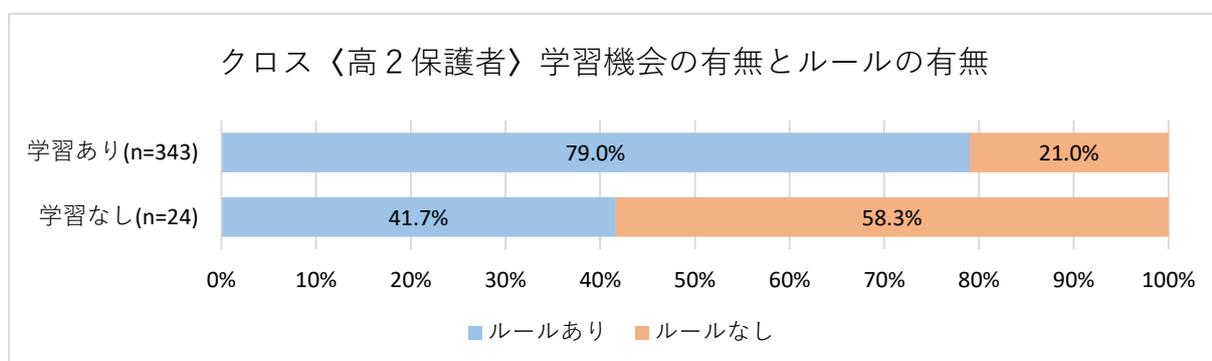
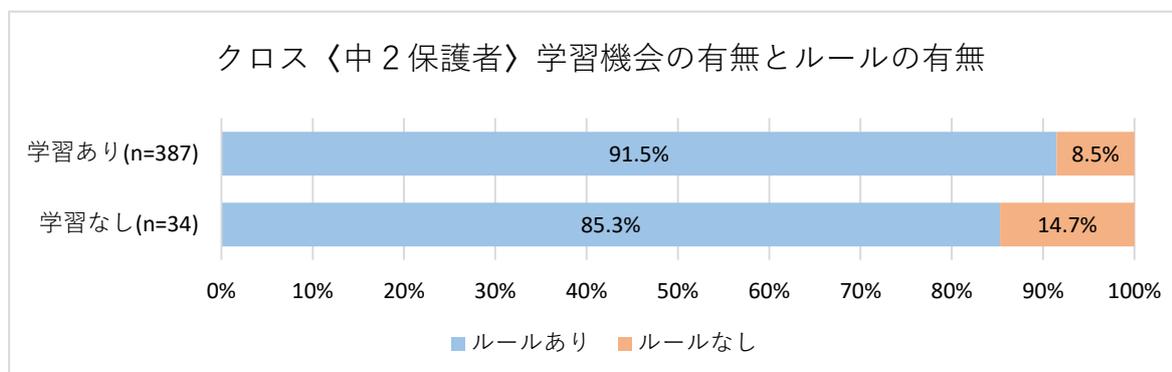
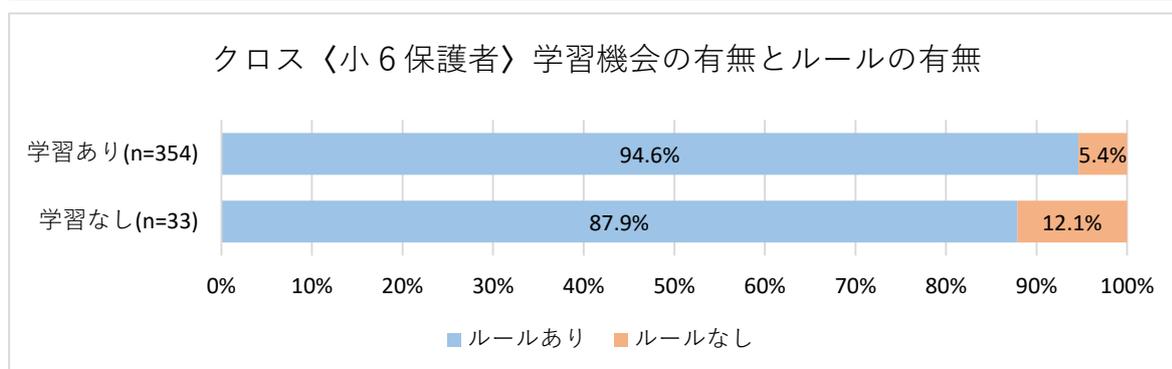
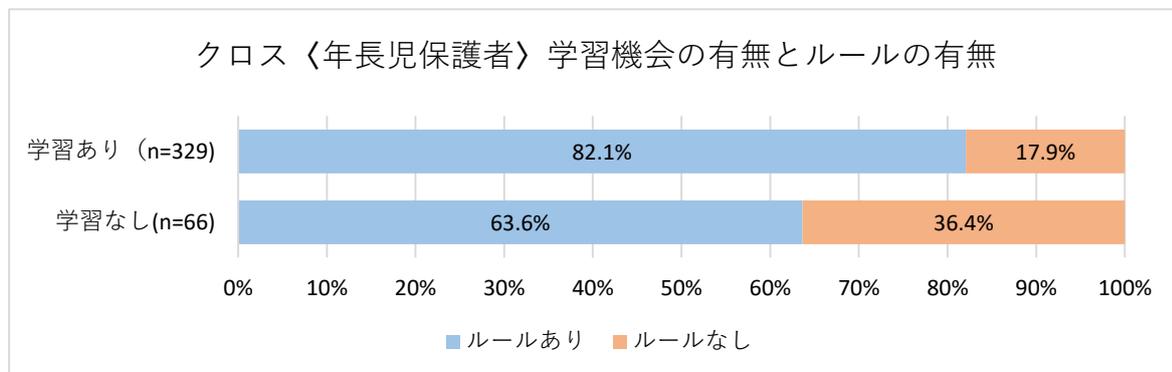
- ・どの学校種でも、トラブル経験のない児童・生徒のインターネット上の知り合いは「いない」割合が高く、トラブル経験のない児童・生徒のほうがインターネット上の知り合いの数が少ない傾向にある。
- ・特に知り合いの数が10人を超えたところで、「トラブル経験あり」の割合と「トラブル経験なし」の割合の差が開く傾向がみられる。

## 【保護者調査】

※小6、中2、高2の保護者調査は、一方が標本数50未満のため参考値として掲載しています。  
また、分析の対象から除いています。

### (1) 保護者の学習機会の有無と家庭でのルール

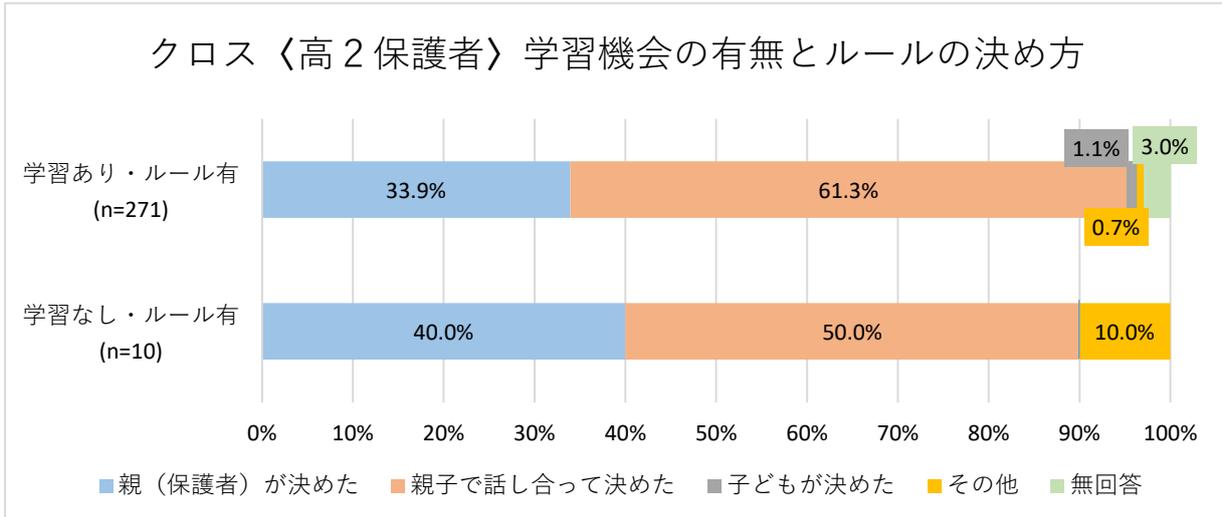
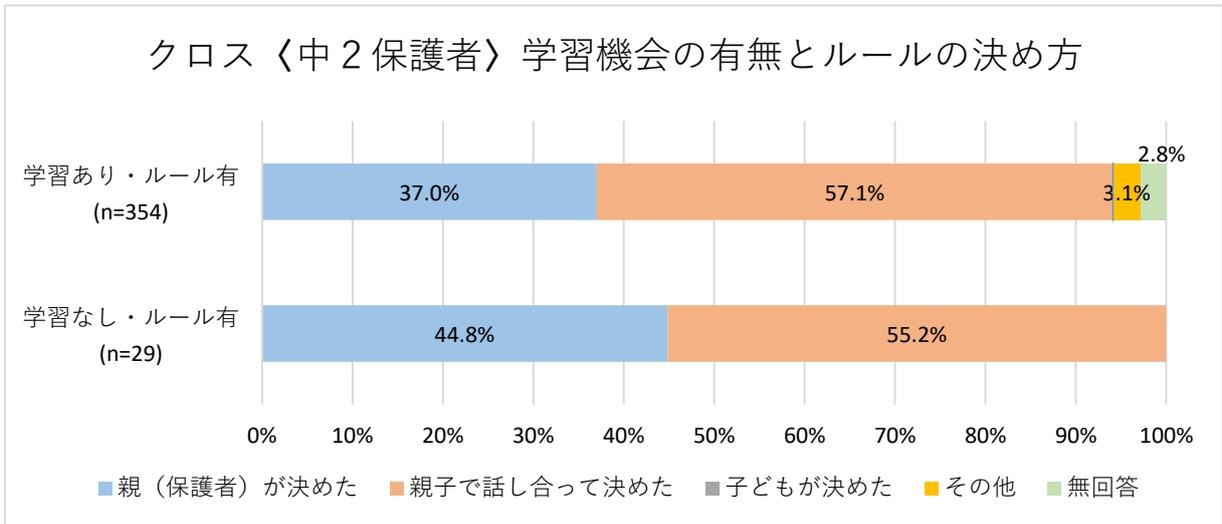
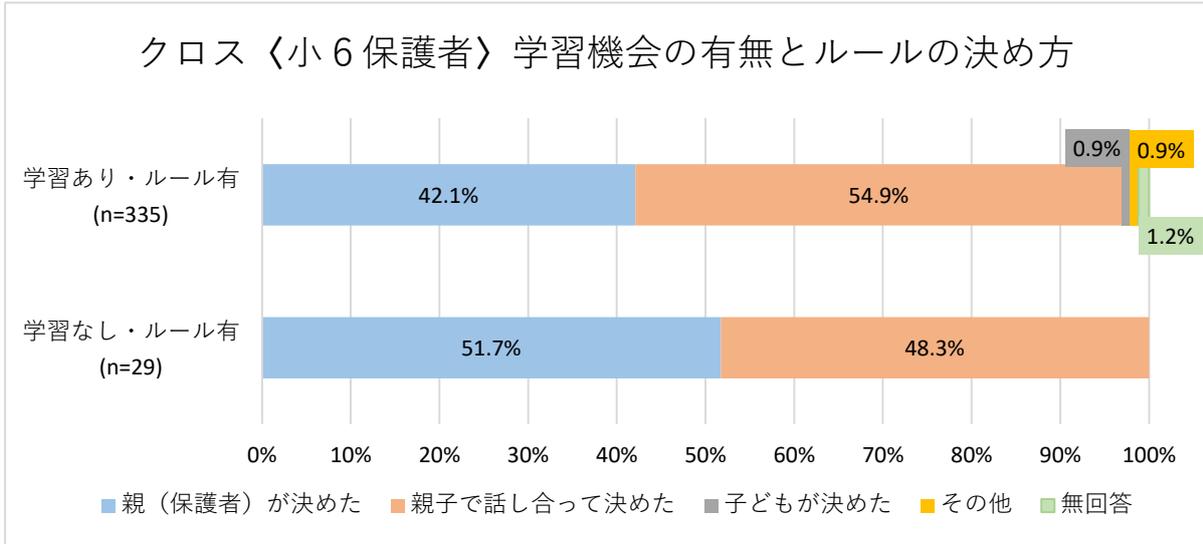
#### 【ルールの有無】



#### 〈保護者の学習機会の有無と家庭でのルール〉

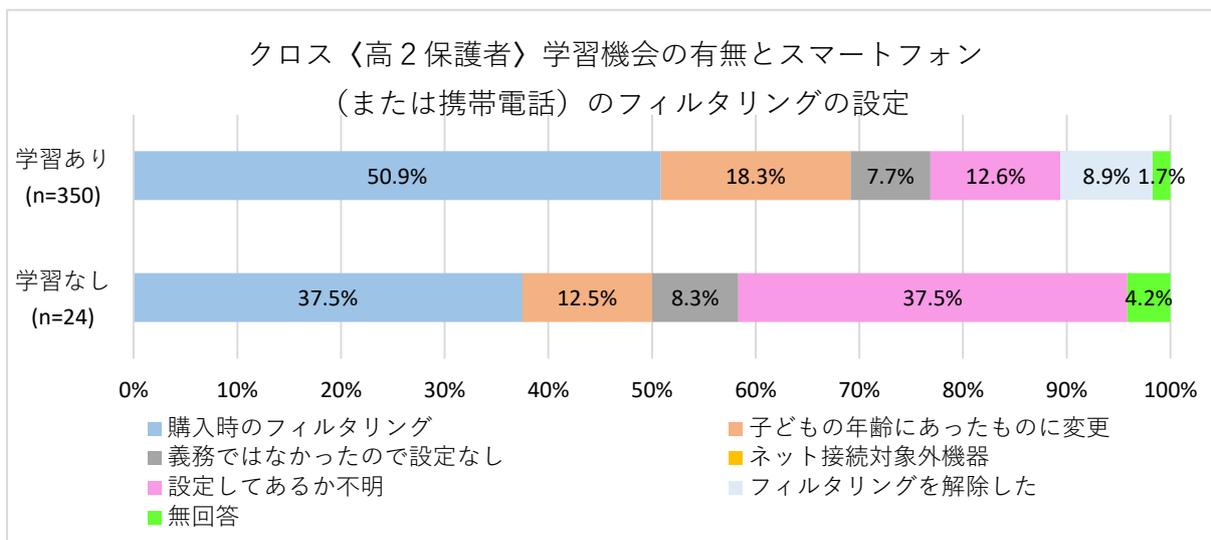
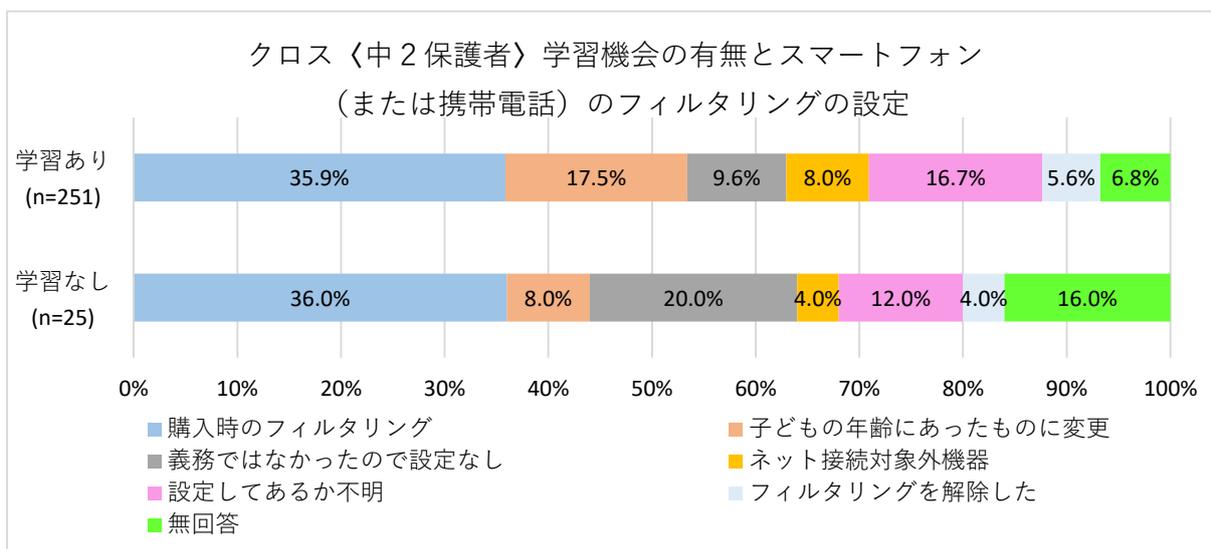
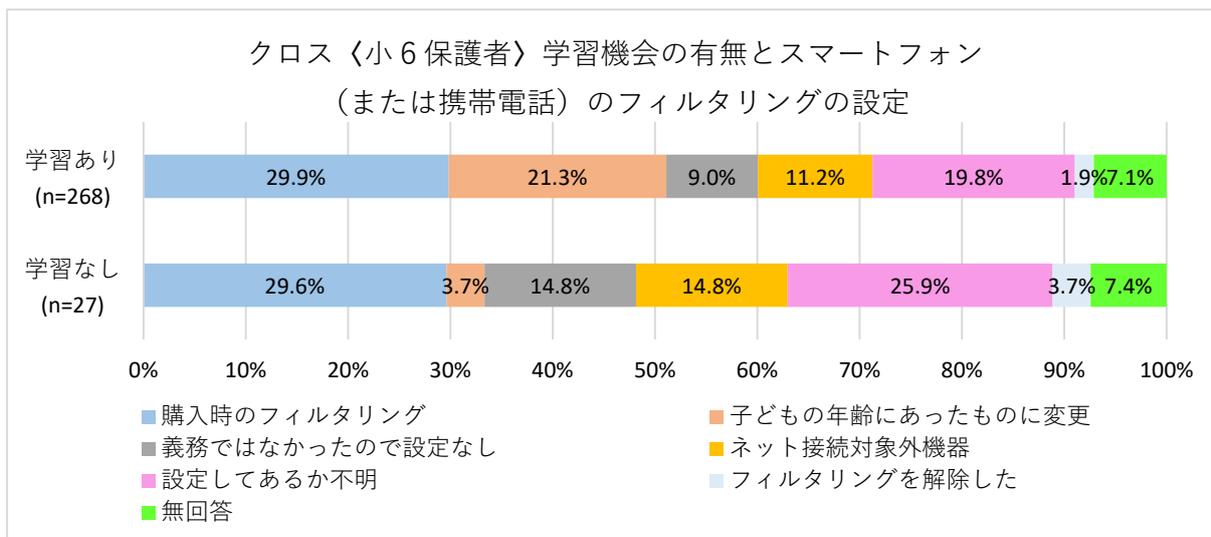
- ・年長児保護者について、インターネットの危険性等について学習経験のある保護者のほうが、ルールを決めている割合が多い。

【ルールの決め方】

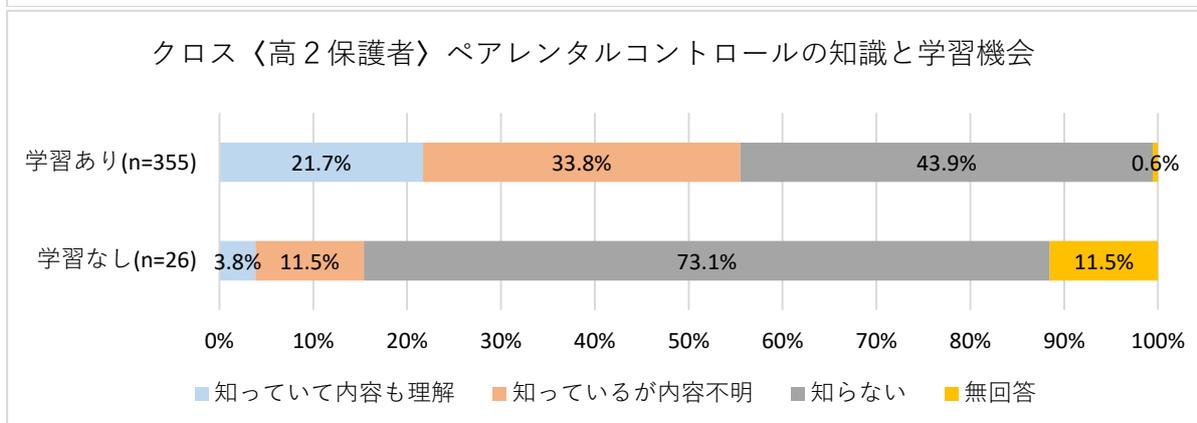
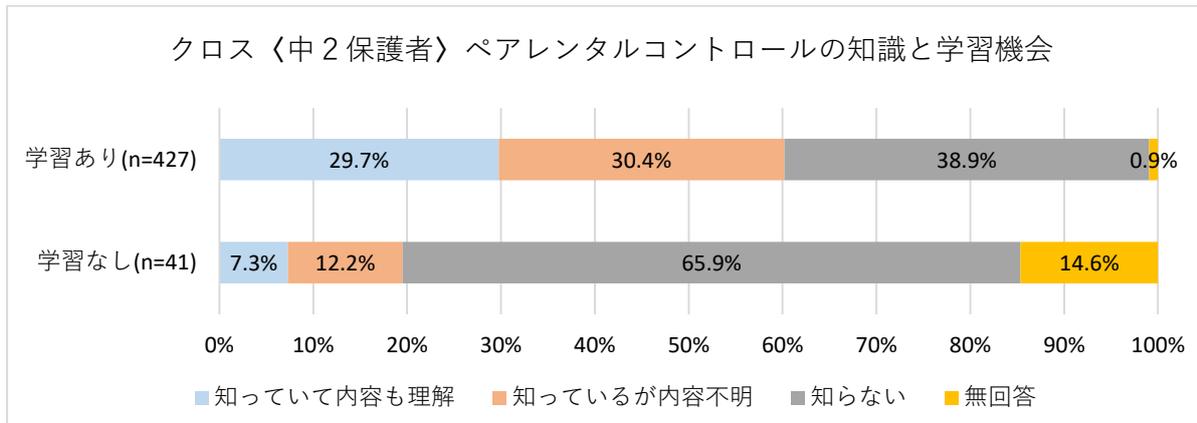
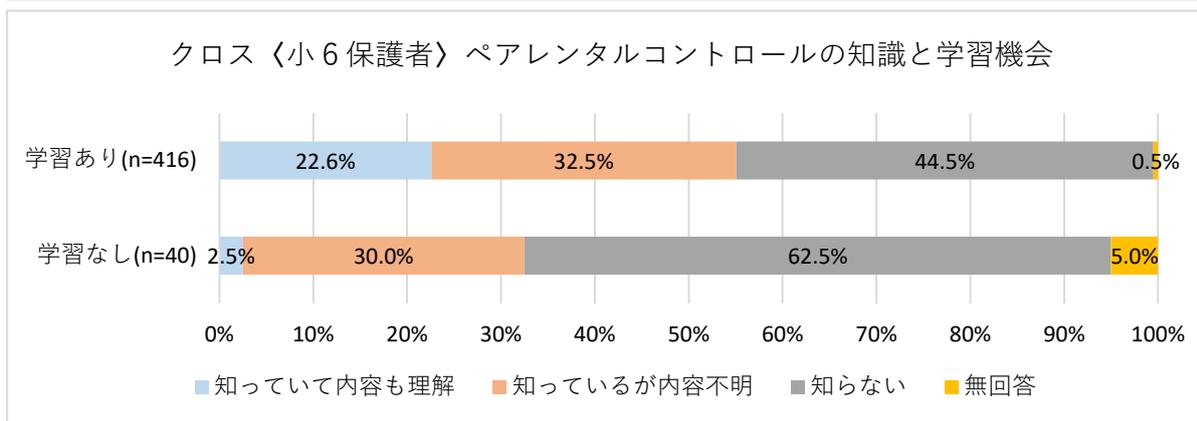
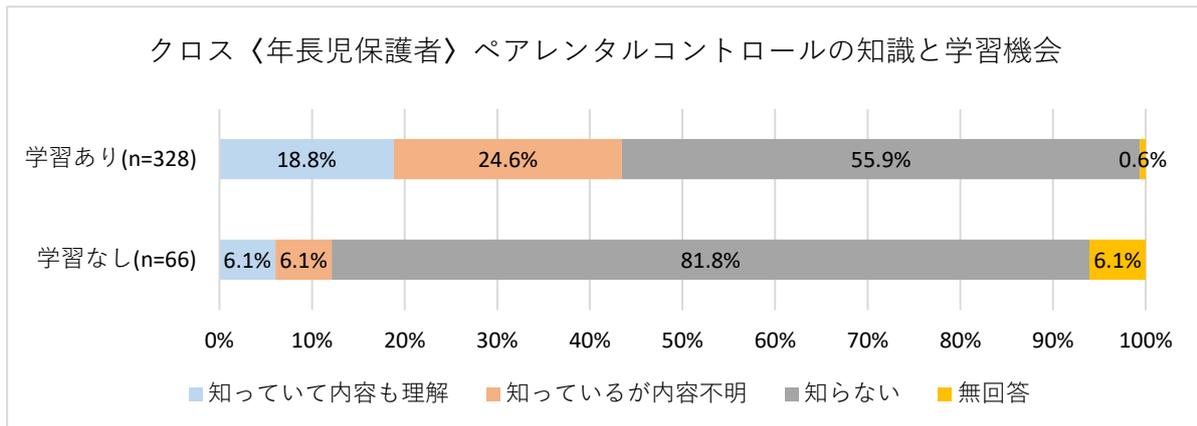


(2) 保護者の学習機会とフィルタリングの設定状況

(スマートフォンまたは携帯電話)



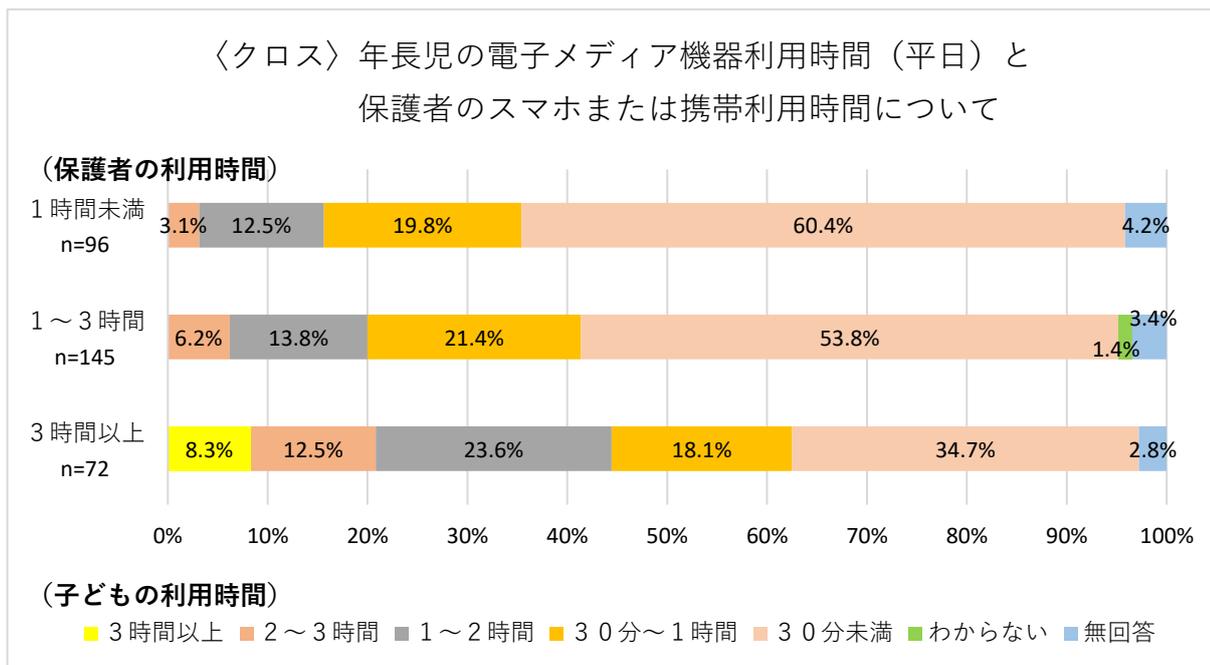
(3) 保護者の学習機会とペアレンタルコントロールの努力義務に関する認知状況



〈保護者の学習機会とペアレンタルコントロールの努力義務に関する認知状況〉

- ・年長児保護者について、インターネットの危険性に関する学習機会のあるほうが、鳥取県青少年健全育成条例に定めるペアレンタルコントロールの努力義務に関する認知度が高い。

(4) 年長児の電子メディア機器利用時間（平日）と保護者のスマートフォンまたは携帯電話利用時間



＜年長児の電子メディア機器利用時間（平日）と保護者のスマートフォンまたは携帯電話利用時間＞

- ・全体として、保護者のスマートフォンまたは携帯電話利用時間が長いほどその子ども（年長児）の電子メディア機器利用時間が1～2時間、2～3時間、3時間以上のいずれの割合も増加し、保護者の利用時間が長くなるほどその子どもの利用が長くなる傾向がみられた。
- ・特に、保護者が3時間以上利用する場合の、その子どもが1時間以上利用する割合は44.4%（保護者1時間未満の場合：15.6%、保護者1～3時間の場合：20.0%）、うち子どもの2時間以上の利用の割合は20.8%（保護者1時間未満の場合：3.1%、保護者1～3時間の場合：6.2%）と高率であり、保護者が3時間未満の利用の場合には見られなかった子どもの3時間以上の利用もそのうち8.3%存在していた。
- ・保護者の長時間利用は、子どもと触れあう時間が減少することだけでなく、子ども自身の長時間利用につながることから、保護者自身の利用について考える必要性についても啓発していくことが必要である。